
文書管理システム連携 プラグイン ユーザーズマニュアル

2013年2月28日 第0.2版

富士ゼロックス株式会社

目次

1.	はじめに.....	4
1.	前提.....	4
2.	用語.....	5
3.	接続環境の設定	6
1.	機能の目的.....	6
2.	設定画面の呼び出し	6
	操作項目の説明.....	6
	Import、Export ボタンについて.....	7
3.	ワークスペースの管理.....	7
	操作項目の説明.....	7
	設定の確定	8
	ワークスペースの編集.....	8
	ワークスペースの削除.....	9
4.	承認メンバーの管理.....	9
	承認メンバーの削除	10
4.	ノードに関連付けた文書の登録や更新	11
1.	機能の目的.....	11
2.	格納画面の呼び出し	11
	操作項目の説明.....	11
3.	格納リストへの文書の追加	12
	操作項目の説明.....	12
	設定の確定	13
	フォルダ参照	13
4.	格納待ちリストからの文書の削除	14
5.	文書の格納.....	14
6.	注意制限事項	17
5.	D-Case 文書の登録・更新を行う.....	18
1.	機能の目的.....	18
2.	格納画面の呼び出し	18
	操作項目の説明.....	19

フォルダ参照.....	20
3. 文書の格納.....	20
6. リポジトリ上の文書をノードに関連付ける.....	24
1. 機能の目的.....	24
2. リポジトリ参照画面の呼び出し.....	24
操作項目の説明.....	24
3. 既存文書との関連付け.....	25
4. 関連付けの削除.....	26
7. ノードに関連付けられた文書を表示する.....	27
1. 機能の目的.....	27
2. 表示メニューの呼び出し.....	27
8. リポジトリの D-Case 文書を探して表示する.....	28
1. 機能の目的.....	28
2. D-Case explorer の呼び出し.....	28
9. D-Case 文書の承認.....	31
1. 機能の目的.....	31
2. 承認画面の呼び出し.....	31
操作項目の説明.....	32
10. 関連文書の変更を検出する.....	35
1. 機能の目的.....	35
2. Check for modification view の呼び出し.....	35
操作項目の説明.....	36
3. 注意制限事項.....	37
文書の初回登録を Alfresco の Web 画面から行った場合.....	37
11. 文書ファイルのバージョン履歴を確認する.....	39
1. 機能の目的.....	39
2. D-Case 文書の履歴画面の呼び出し.....	39
他のバージョンの D-Case 文書を表示する.....	40
3. ノードに関連付けた文書の履歴画面の呼び出し.....	40
他のバージョンの関連文書を表示する.....	41
12. D-Case 文書の比較.....	42
1. 機能の目的.....	42

2.	文書比較用 D-Case explorer の呼び出し.....	42
	操作項目の説明.....	42
13.	D-Case 文書の検索.....	44
1.	機能の目的.....	44
2.	Search of D-Case view の呼び出し	44
3.	Search コマンドボタン	44
	操作項目の説明.....	45
4.	検索結果への操作.....	46
5.	Open コマンドボタン.....	47
6.	Compare コマンドボタン.....	49
7.	注意制限事項	51
	“Open”、“Compare”でダウンロードされるファイル.....	51
	日時の検索.....	51
14.	リポジトリ上の文書と関係する D-Case 文書を探す.....	52
1.	機能の目的.....	52
2.	探索機能の呼び出し	52
	操作項目の説明.....	55
15.	編集中の D-Case 文書ノードと同じ関連文書を持つ D-Case 文書を探す	57
1.	機能の目的.....	57
2.	探索機能の呼び出し	57
	操作項目の説明.....	60
16.	Alfresco Community でのバージョン履歴の閲覧手順.....	61
1.	ダッシュボード	61
2.	サイト.....	62
3.	文書の詳細.....	63

1. はじめに

本書は D-Case エディタの拡張機能として提供される、文書管理システムとの連携を補助するプラグインモジュールの操作説明書です。

本書では文書管理システム連携機能で提供している操作を中心に説明しますが、GUI 操作において、プラグインのプラットフォームとなっている eclipse や、本体機能である D-Case エディタの操作について記述することがあります。

D-Case エディタの操作方法については、別紙の「D-Case エディタユーザーズマニュアル」をご覧ください。

1. 前提

本書で説明を行う文書管理システム連携機能は、オープンソース ECM 製品である、Alfresco Community を接続対象としております。

その他の ECM 製品との接続は検証されていません。

Alfresco Community の検証時のバージョンは「4.2.b」です。

2. 用語

本書で使用する用語について記述します。

用語	定義
D-Case 文書	D-Case エディタで作成されるダイアグラムファイル。拡張子 ".dcase"、".dcase_diagram"、".dcase_model" の 3 ファイルを一式で扱います。
関連文書	D-Case 文書に記述されたノードとの関係性を持つ文書を指します。
ワークスペース	文書管理システム上での既定の作業場所についての設定情報を指します。
リポジトリ	特段の宣言が無い場合は、連携先 Alfresco Community の文書格納先を指します。
ECM	<u>E</u> nterprise <u>C</u> ontents <u>M</u> anagement system の略称です。
CMIS	<u>C</u> ontent <u>M</u> anagement <u>I</u> nteroperability <u>S</u> ervices の略称です。ECM への接続方法に関する OASIS による標準規格です。
バージョン履歴	リポジトリに管理されている文書が、更新された記録です。本機能からは、D-Case 文書や関連文書のリポジトリへの登録・更新、D-Case 文書の承認で記録されます。

表 1

3. 接続環境の設定

1. 機能の目的

Alfresco Community への接続情報を管理します。

2. 設定画面の呼び出し

メインメニューの Window メニューから Preferences メニューを選びます。

ツリーメニューから“D-Case Diagram”>“Documents workspaces”を選びます。

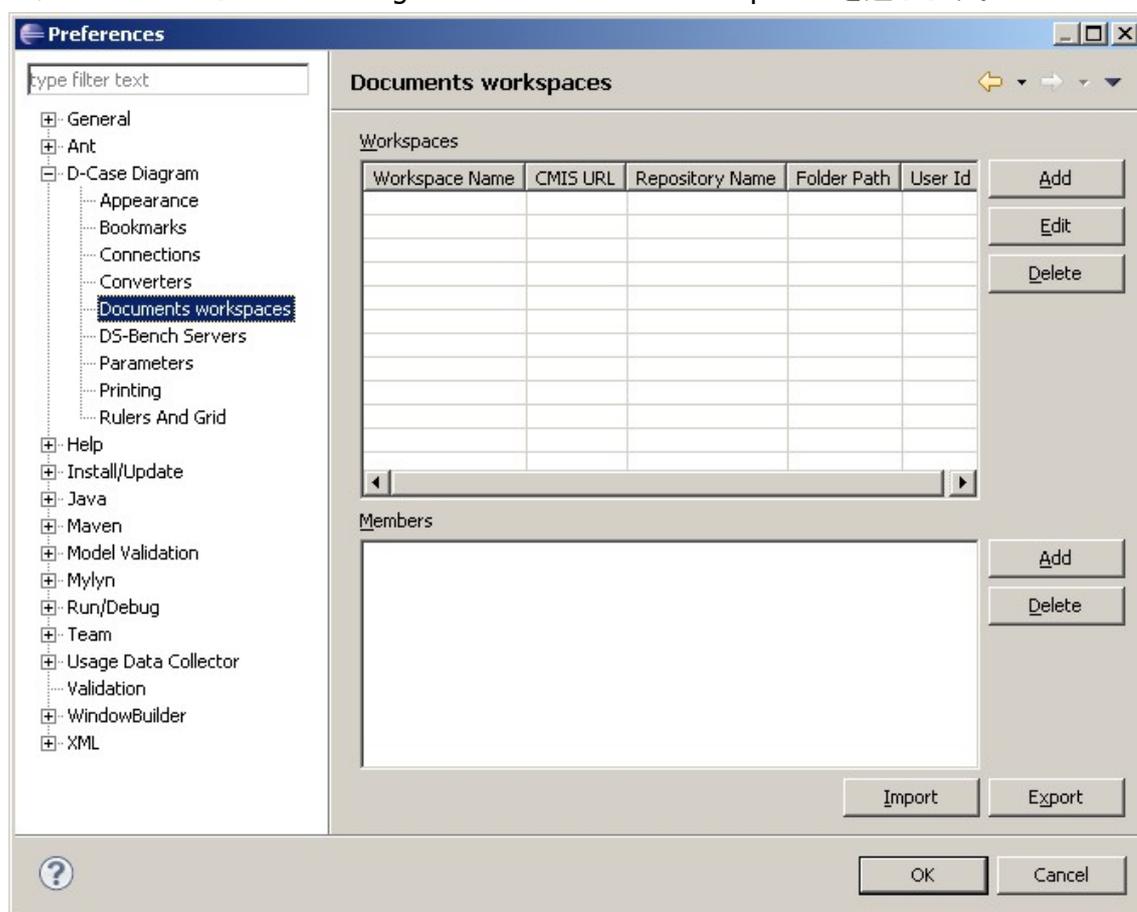


図 1

操作項目の説明

Workspaces

Alfresco Community の接続先 URL やアカウント情報などを管理します。“Add”ボタンによって表示される別画面で設定し、“Edit”ボタンで設定内容の変更、“Delete”ボタンで削除します。

Members

後述するD-Case文書の承認機能で設定する、承認メンバーの名称を管理します。“Add”ボタンによって表示される別画面で設定し、“Delete”ボタンで削除します。

Import ボタン

“Export”ボタンでxmlファイルに書き出された設定情報の取り込みを行います。例外として、Workspaceのアカウント情報は取り込みません。

Export ボタン

Preferenceに定義された文書管理システム連携の設定情報をxmlファイルに書き出します。例外として、Workspaceのアカウント情報はファイルに書き出しません。

Import、Export ボタンについて

グループやチームで複数の作業者が同じ文書管理システムに接続する場合、接続情報の相互利用を行えるようにするため、設定の入出力機能を入れました。

ユーザーアカウント情報は、セキュリティリスクがあるため出力を行いません。

お手数をおかけしますが、個別の環境でImport後に設定を行ってください。

3. ワークスペースの管理

管理UIで“Workspaces”一覧表の右にある“Add”ボタンを押し、追加画面を表示します。

図 2

操作項目の説明

Workspace name

追加する接続情報につける任意の名称を入力します。

CMIS URL

CMIS の bind 先 URL を入力します。

bind 先は RESTful AtomPub 方式の URL を選択します。

Alfresco Community での bind 先は、以下に例示する書式となります。

例) http://[host]:[port]/alfresco/service/cmisis/

設定の確定

全ての項目が設定されると“OK”ボタンを押せるようになります。

図 3

“OK”ボタンを押し、入力を確定させると追加画面が閉じて管理画面に項目が追加されます。正しい値が入力されなかった場合は、エラーメッセージでアナウンスします。

Workspace Name	CMIS URL	Repository
Test1	http://[redacted]/alfresco/service/cmisis/	Main Repository

図 4

ワークスペースの編集

Workspaces で内容の変更を行う設定情報を選び、管理 UI で“Workspace”一覧表の右にある“Edit”ボタンを押し、編集画面を表示します。

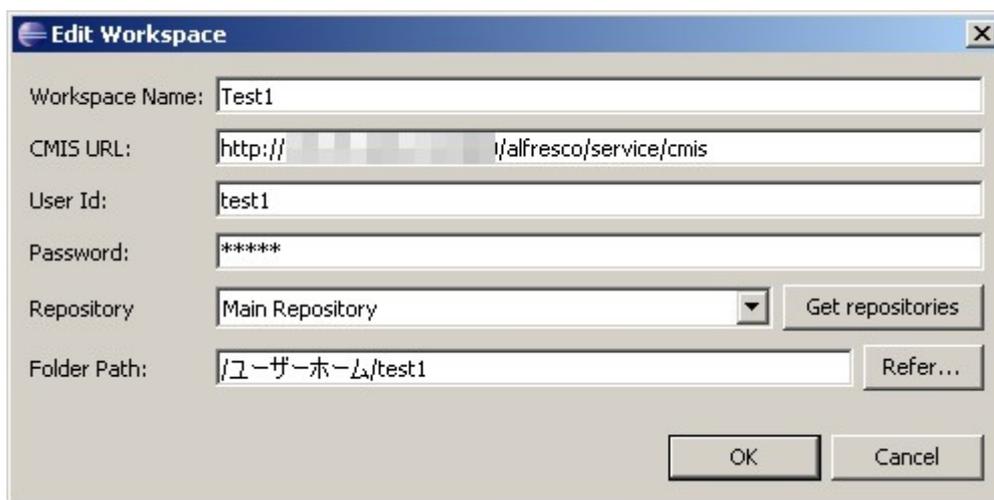


図 5

入力項目は追加の画面と同じです。

編集後に“OK”ボタンで閉じることで値が更新されます。

ワークスペースの削除

Workspaces で内容の削除を行う設定情報を選び、管理 UI で“Workspace”一覧表の右にある“Delete”ボタンを押します。

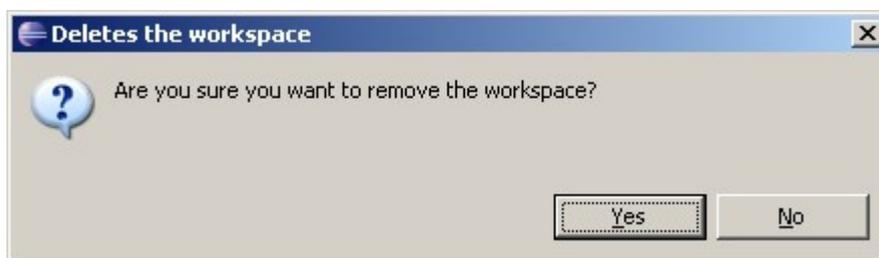


図 6

“Yes”ボタンで選択した設定値を削除します。

“No”ボタンで削除処理を中断します。

4. 承認メンバーの管理

D-Case 文書の承認機能で添付する承認メンバー名を、あらかじめ登録しておくことが出来ます。

管理 UI で“Members”一覧表の右にある“Add”ボタンを押し、追加画面を表示します。



図 7

Member name 欄に承認メンバー名を入力し、“OK”ボタンを押すと一覧表に追加されます。

“Cancel”ボタンで操作を中断します。

承認メンバーの削除

管理 UI で“Members”一覧表の右にある“Delete”ボタンを押します。



図 8

“Yes”ボタンで選択した設定値を削除します。

“No”ボタンで削除処理を中断します。

4. ノードに関連付けた文書の登録や更新

1. 機能の目的

ローカル環境に作成した各種ノードに関連付ける文書を、リポジトリ上に格納します。

2. 格納画面の呼び出し

D-Case エディタ上で Context、Justification、Evidence のいずれかのノード上にマウスを移動させ、右クリックで表示されるコンテキストメニューから“Document”>“Commit”を選びます。

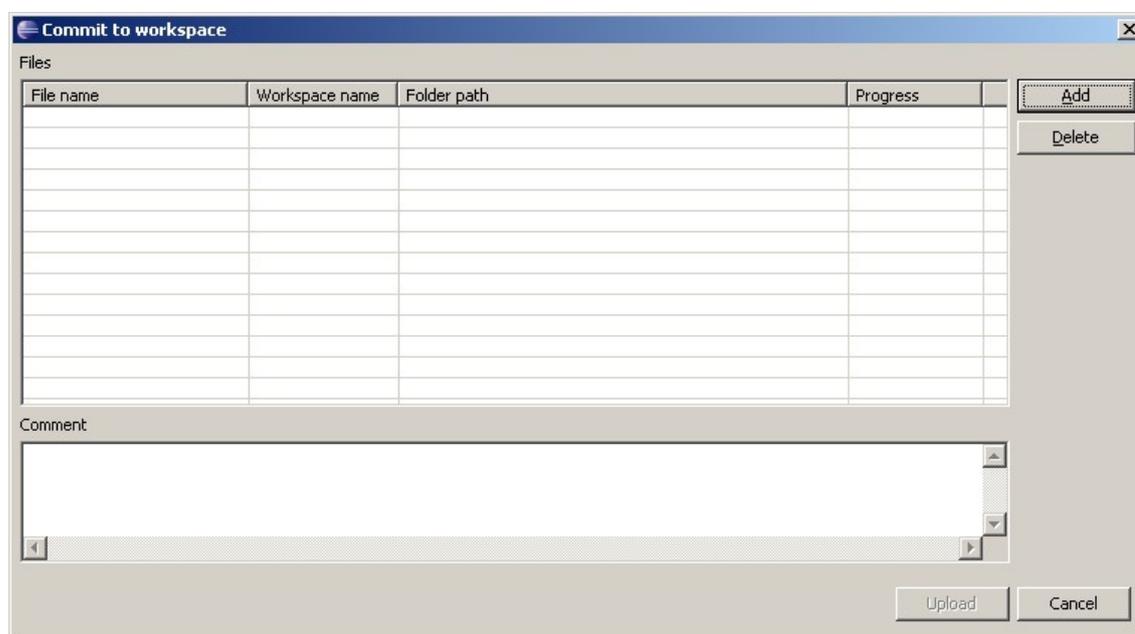


図 9

操作項目の説明

Files

格納する文書ファイルの情報と、格納先となるリポジトリ情報を設定します。
“Add”ボタンによって表示される別画面で設定し、“Delete”ボタンで削除します。

Comment

文書の格納時に設定するコメント情報を入力します。
文書管理システムのコミットログに添付されます。

3. 格納リストへの文書の追加

格納 UI で“Files”の右にある“Add”ボタンを押し、追加画面を表示します。

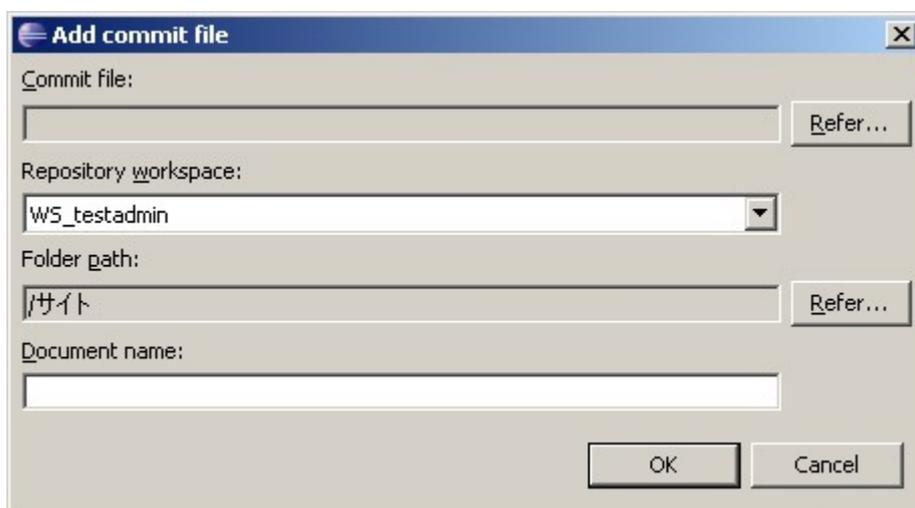


図 10

操作項目の説明

Commit file

指定したノードに関連する文書ファイルのパス文字列を、“Refer”ボタンから呼び出されるファイル選択ダイアログを使って設定します。

選択されたファイルは Document name の初期値となります。

関連文書が既にある場合で、その関連文書と同名のファイルが指定された場合、関連文書の持つ情報で、Repository workspace、Folder path、Document name が設定されます。

Repository workspace

Preference で設定した Workspace を選択します。

Workspace で設定された接続情報を使って、文書管理システムへの接続を行います。

Folder path

リポジトリ上の格納先フォルダパスを選びます。

初期値は Repository workspace で選んだ Workspace 情報に設定されている参照先フォルダとなります。

“Refer”ボタンからは“Document explorer”画面が表示されます。

“Document explorer”で、フォルダツリーからフォルダを選ぶと、フォルダまでのパス情報が反映されます。

特定の文書を選ぶと、フォルダまでのパス情報が反映されるとともに、“Document name”に選択文書の文書名が設定されます。

“Document explorer”画面の操作は【[フォルダ参照](#)】を参照してください。

Document name

リポジトリで管理される文書名を指定します。

デフォルトでは Commit file で指定したファイル名が入りますが、既にリポジトリ上に登録されている文書に対して上書きを行う場合は、その文書名を指定することで内容の異なるファイルでも、上書きを行うことが出来ます。また、全く別の文書名で登録することもできます。

設定の確定

全ての項目が設定されると“OK”ボタンを押せるようになります。

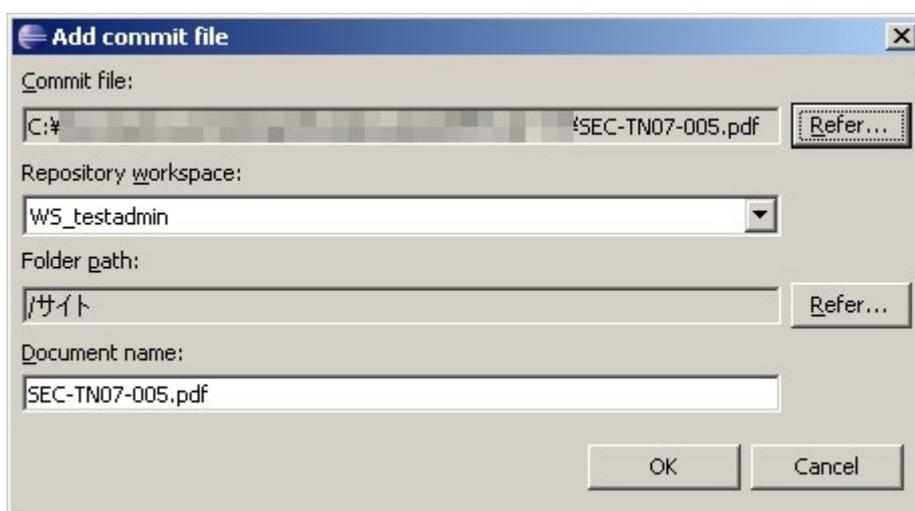


図 11

“OK”ボタンを押し、入力を確定させると追加画面が閉じて管理画面に項目が追加されます。接続先が確認できないなど、正しい値が入力されなかった場合は、エラーメッセージでアナウンスします。

フォルダ参照

“Folder path”項目の“Refer”ボタンを押すと、“Folder path”項目に設定されているパス情報を初期値として、“Document explorer”画面が表示されます。

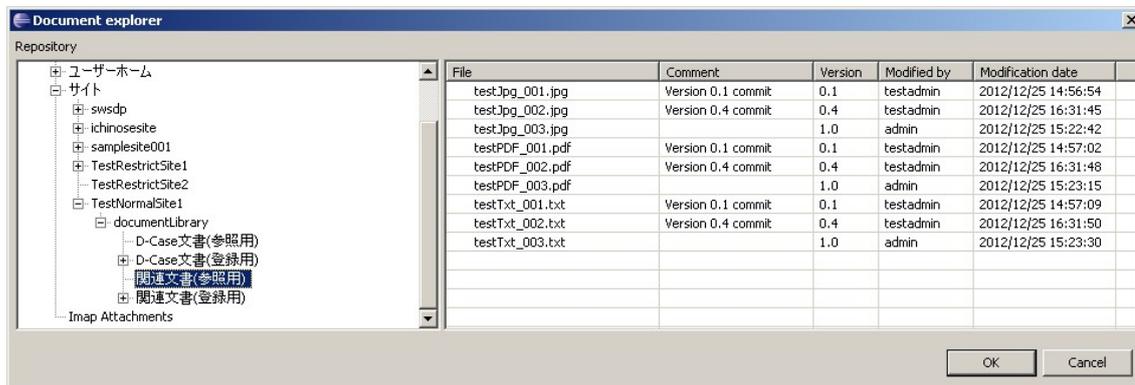


図 12

この画面でフォルダツリーのノードを選んで“OK”ボタンを押すと、リポジトリの指定フォルダまでのパス情報が決定されます。

ファイル一覧からいずれかのファイルを選んで“OK”ボタンを押すと、リポジトリの指定ファイルまでのパス情報が決定されます。

4. 格納待ちリストからの文書の削除

“Files”に追加したファイルを削除する場合は、“Files”から削除する行を選び、右にある“Delete”ボタンによって削除します。

ローカルファイルやリポジトリ上の文書には影響はありません。

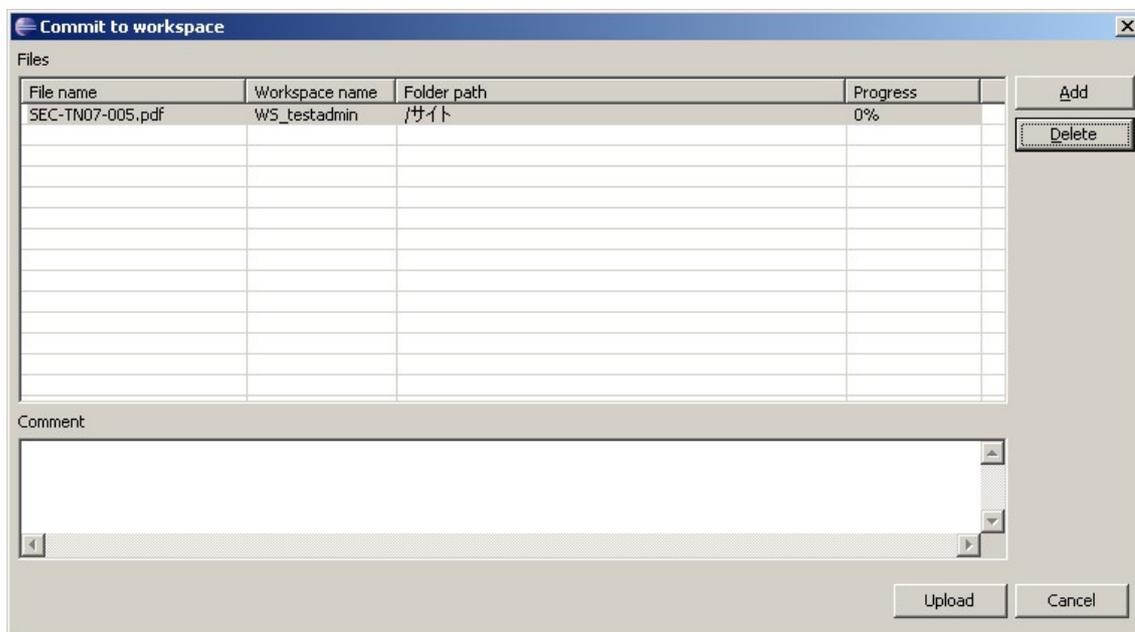


図 13

5. 文書の格納

“Files”にファイル情報を追加すると“Upload”ボタンが有効になり、リポジトリにファイルを格納する準備が整います。

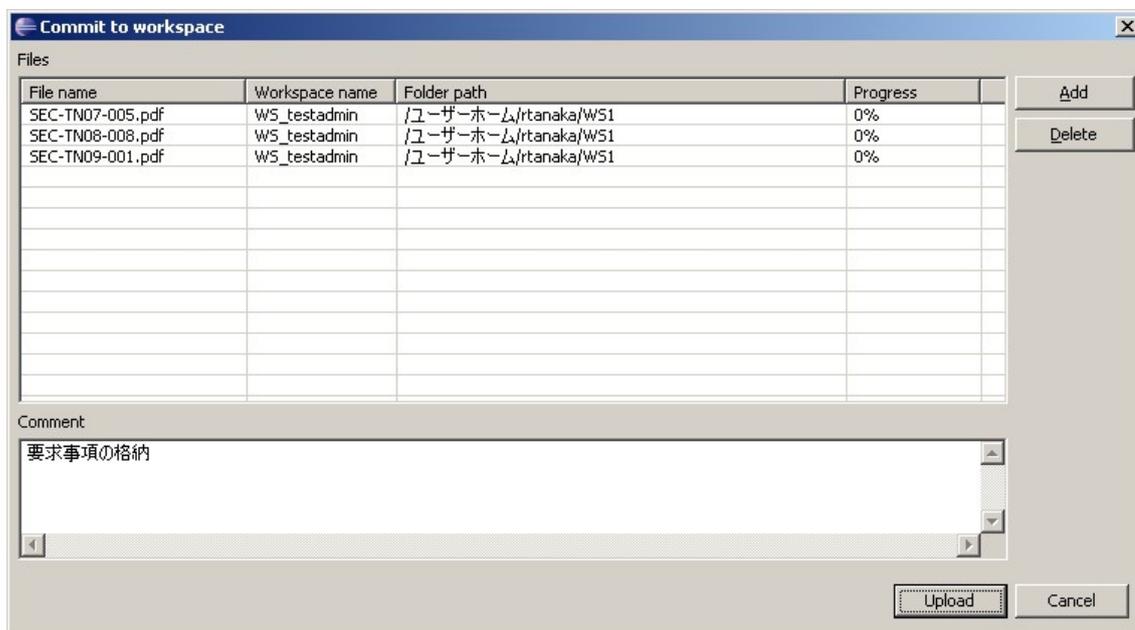


図 14

“Upload”ボタンを押すと、“Files”に追加された格納待ち文書は、順次リポジトリへとアップロードされ、“Progress”列に進捗が表示されます。全ての文書でアップロードが完了すると、“Close”ボタン以外は選べなくなります。

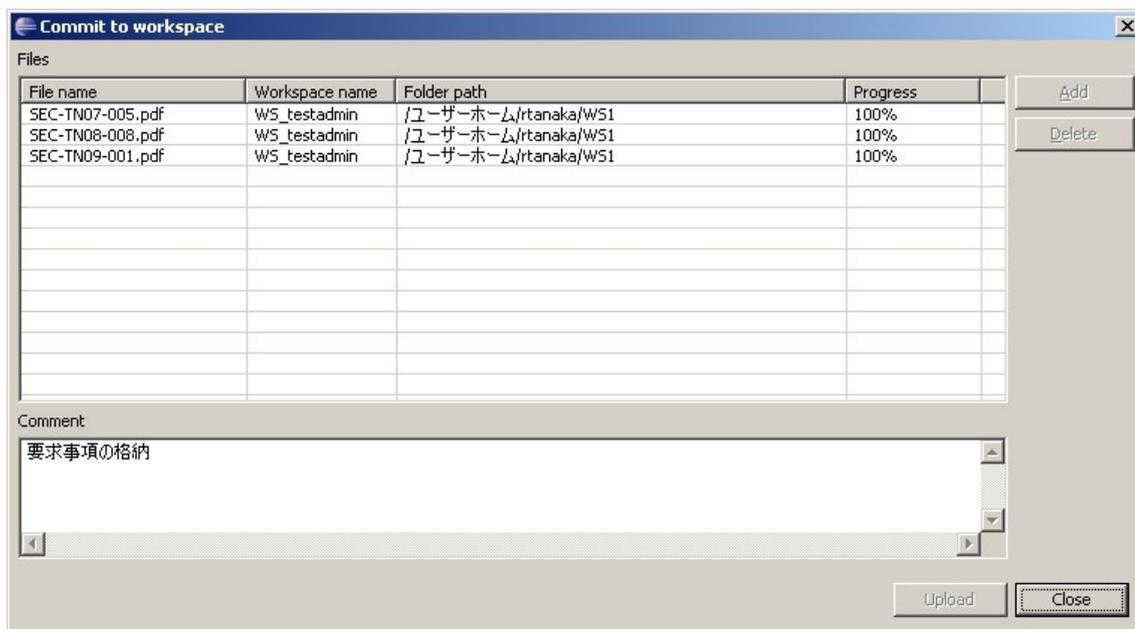


図 15

“Comment”に記入した内容は、文書の格納時に各文書のコミットログとして添付されます。また、各文書は Alfresco Community 上で、バージョン管理された文書として、最小のバージョン情報が添付されます。



図 16

同一文書名を Document name に設定して Upload を行った場合は、Alfresco Community 上に作成されたリポジトリの文書ファイルを更新し、最新バージョンの文書として格納されます。



図 17

Alfresco Community でのバージョン履歴の閲覧方法は、巻末の【[Alfresco Community でのバージョン履歴の閲覧手順](#)】を参照してください。

Alfresco Community に格納した文書の関連付け情報は、ノードの CMISInfo プロパティに設定されます。

Property	Value
Attachment	[Icon]
CMISInfo	ECM:/{SEC-TN07-005.pdf,workspace://SpacesStore/...
Desc	[Icon]
Desc Format String	[Icon]
Message	[Icon]
Name	E 1

図 18

6. 注意制限事項

ノードの CMISInfo プロパティに格納された値は、システムによって利用しています。手作業での変更は予期せぬエラーを起こす場合がありますので、ご遠慮ください。

5. D-Case 文書の登録・更新を行う

1. 機能の目的

ローカル環境に作成した D-Case 文書を、リポジトリ上に格納します。

2. 格納画面の呼び出し

D-Case エディタ上で D-Case メニューから“Document workspace”>“Commit”を選びます。

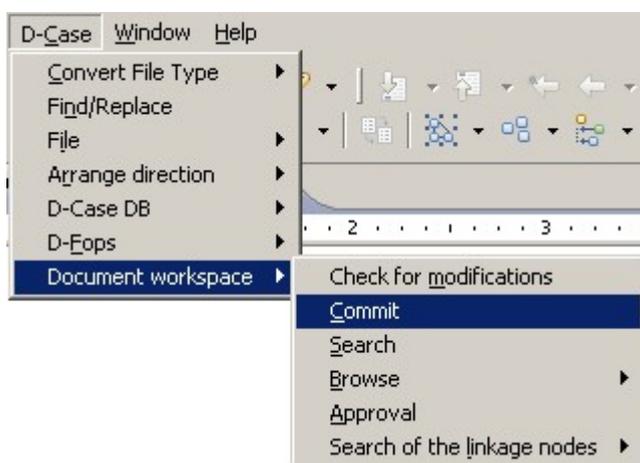


図 19

D-Case 文書が保存されていない場合は、保存を促すメッセージが表示されます。

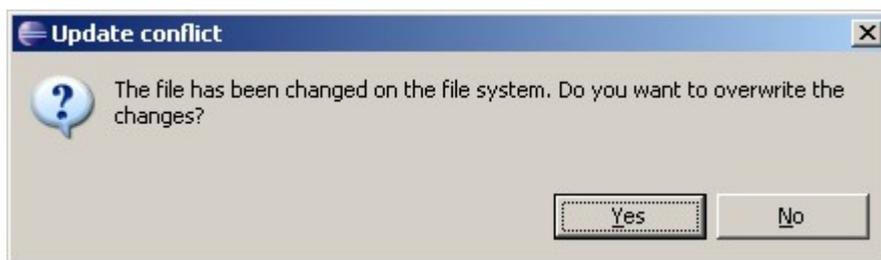


図 20

D-Case 文書が保存済みか、このメッセージで“Yes”ボタンを押すと、D-Case 文書を格納するための画面が表示されます。

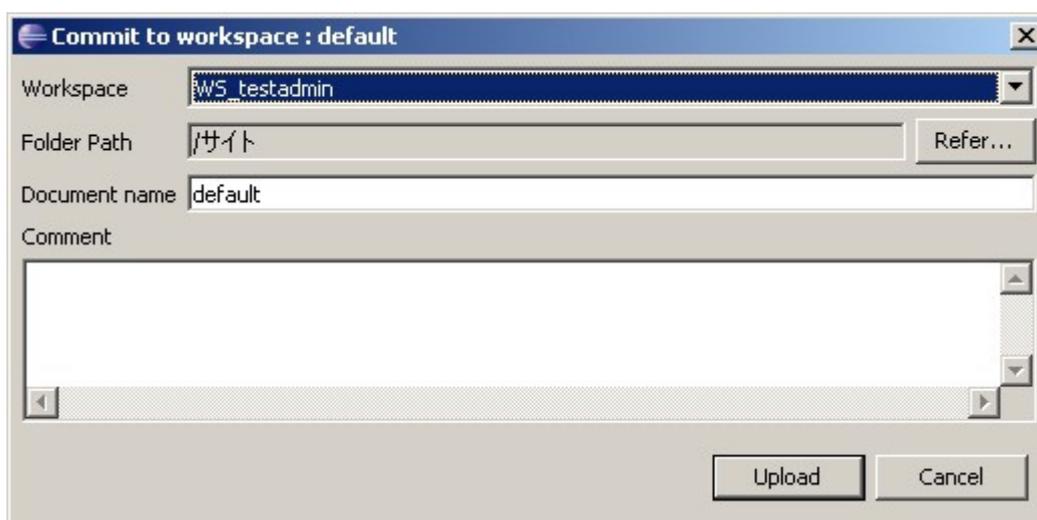


図 21

操作項目の説明

Workspace

Preference で設定した Workspace を選択します。

Workspace で設定された接続情報を使って、文書管理システムへの接続を行います。

“.dcase_attr”を持つ D-Case 文書の場合、既存の関連付け情報から Workspace の初期値が反映されます。

Folder path

リポジトリ上の格納先フォルダパスを、“Refer”ボタンから呼び出される“Repository reference”画面を使って選びます。

“.dcase_attr”を持つ D-Case 文書の場合、既存の関連付け情報から Document path の初期値が反映されます。新規の場合は Workspace で選んだ Workspace 情報に設定した参照先フォルダとなります。

“Refer”ボタンで表示された“Repository reference”画面で、フォルダツリーからフォルダを選ぶとパス情報が反映されます。

“Repository reference”画面の操作は【[フォルダ参照](#)】を参照してください。

Document name

リポジトリに格納する際の文書名を指定します。

“.dcase_attr”を持つ D-Case 文書の場合、既存の関連付け情報から Document path の初期値が反映されます。新規の場合はカレント D-Case 文書の拡張子を除いたファイル名となります。

手入力によって任意の D-Case 文書名を設定することもできます。

リポジトリ上の格納先フォルダに同名文書が存在する場合は、リポジトリ上の文書は更新され、バージョンが上がります。

Comment

D-Case 文書の格納時に設定するコメント情報を入力します。
文書管理システムのコミットログに添付されます。

フォルダ参照

“Folder path”項目の“Refer”ボタンを押すと、“Folder path”項目に設定されているパス情報を初期値として、“Repository reference”画面が表示されます。

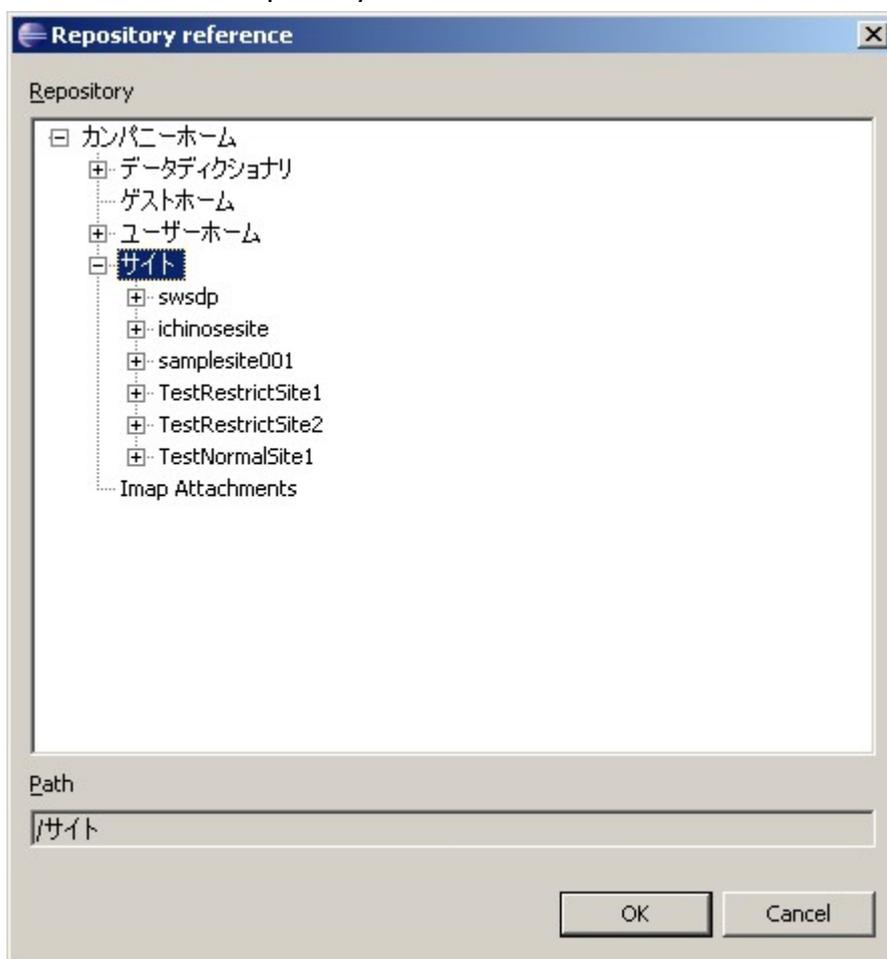


図 22

この画面でフォルダツリーのノードを選んで“OK”ボタンを押すと、リポジトリの指定フォルダまでのパス情報が決定されます。

3. 文書の格納

D-Case 文書を格納するための設定を行い“Upload”をクリックすると、D-Case 文書のリポジトリへの格納を開始します。

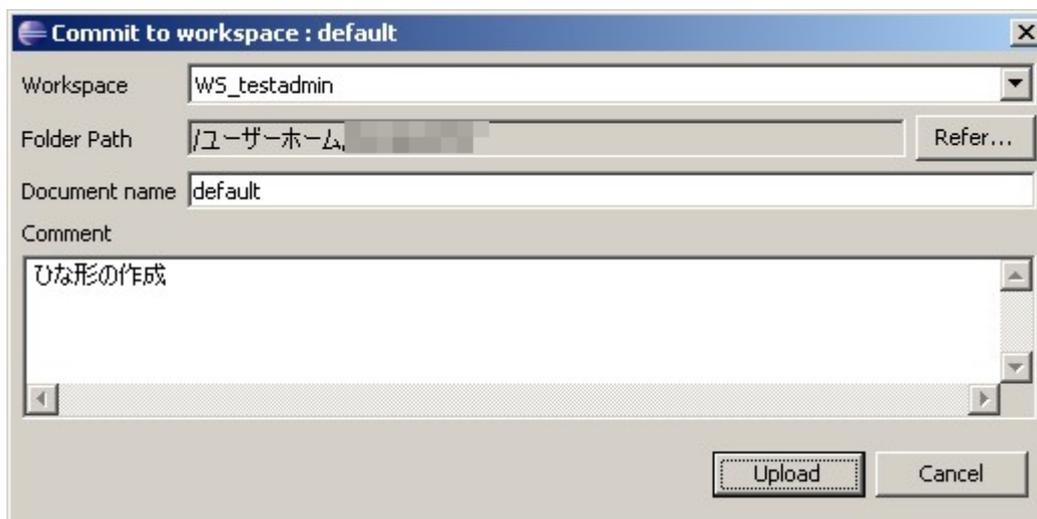


図 23

格納を始めるとカレントの D-Case 文書を構成するファイル (.dcase、.dcase_diagram、.dcase_model)は、順次リポジトリへとアップロードされ、進捗が表示されます。

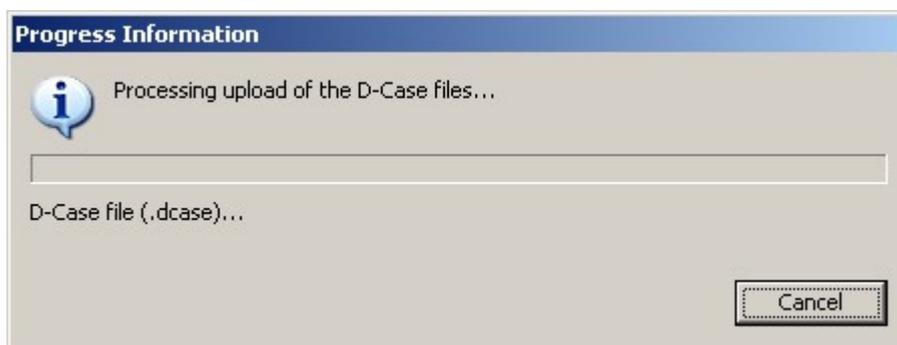


図 24

全ての文書でアップロードが完了するとメッセージが表示されます。



図 25

“Comment”に記入した内容は、文書の格納時に D-Case 文書のコミットログとして添付されます。また、D-Case 文書は Alfresco Community 上で、バージョン管理された文書として、最小のバージョン履歴が添付されます。



図 26

同一文書名を Document name に設定して“Upload”を行った場合は、リポジトリ上の文書ファイルを更新し、最新バージョンの文書として格納されます。



図 27

リポジトリに格納した文書の関連付け情報は、{D-Case 文書名}.dcase_attr ファイルに書き込みます。

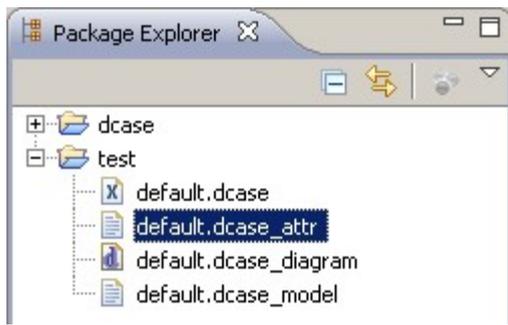


図 28

6. リポジトリ上の文書をノードに関連付ける

1. 機能の目的

既にリポジトリ上に存在する文書を、記述している D-Case のノードに対して関連付けます。

2. リポジトリ参照画面の呼び出し

D-Case エディタ上で Context、Justification、Evidence のいずれかのノード上にマウスを移動させ、右クリックで表示されるコンテキストメニューから“Document”>“Repository browse”を選びます。

サブメニューとして Preference で設定した Workspace の名称が表示されますので、接続先としていずれかを選択することで、“Repository explorer”が表示されます。

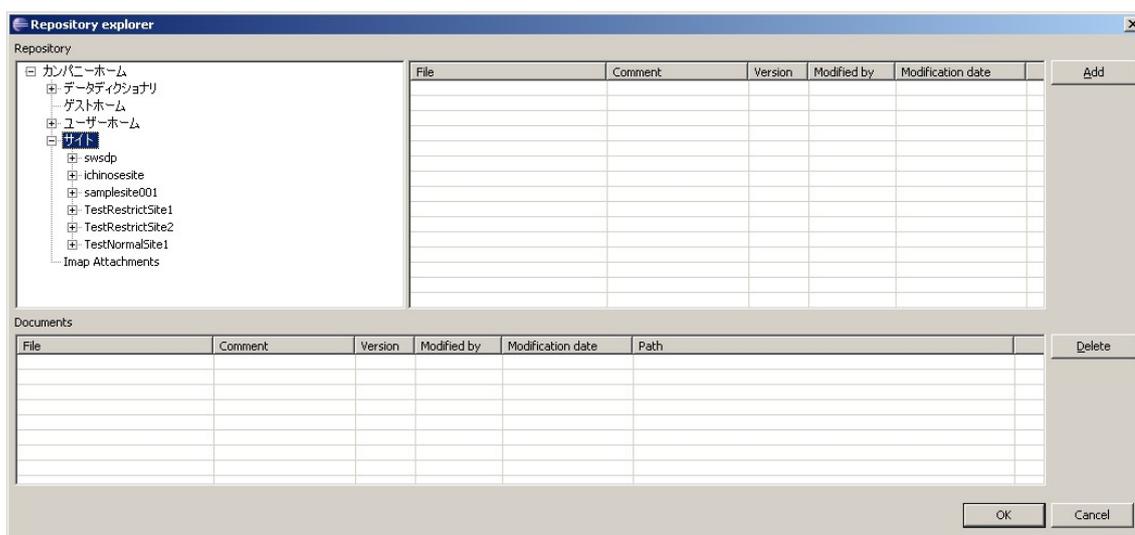


図 29

操作項目の説明

Repository

接続先文書管理システムのフォルダツリー表示と、選択したフォルダ内の文書ファイルの一覧を表示します。

接続方法として選んだ Workspace に登録しているユーザーアカウントが許可されている権限によって、表示されるフォルダや文書ファイルなどが変わります。

Documents

D-Case 文書のノードに関連付けを行う文書ファイルリストです。

Repository の文書ファイルから関連付けを行う文書を選び、“Add”ボタンで追加します。追加済みの情報を削除する場合は“Delete”ボタンで削除します。

関連付け済みのノードに対してこの画面を開くと、関連文書情報が一覧に表示されます。

ノードに関連文書が存在する場合でも、関連付け情報がリポジトリの最新と一致しない場合や、リポジトリから削除されている場合などは、一覧には表示されません。

3. 既存文書との関連付け

Repository のフォルダ移動で参照先まで移動し、目的の文書ファイルを探します。

見つけた文書ファイルを選択し、“Add”ボタンを押すと Documents にファイルの情報が追加され、Repository の文書ファイル一覧は、追加済みとなった文書ファイルをグレーで表示します。

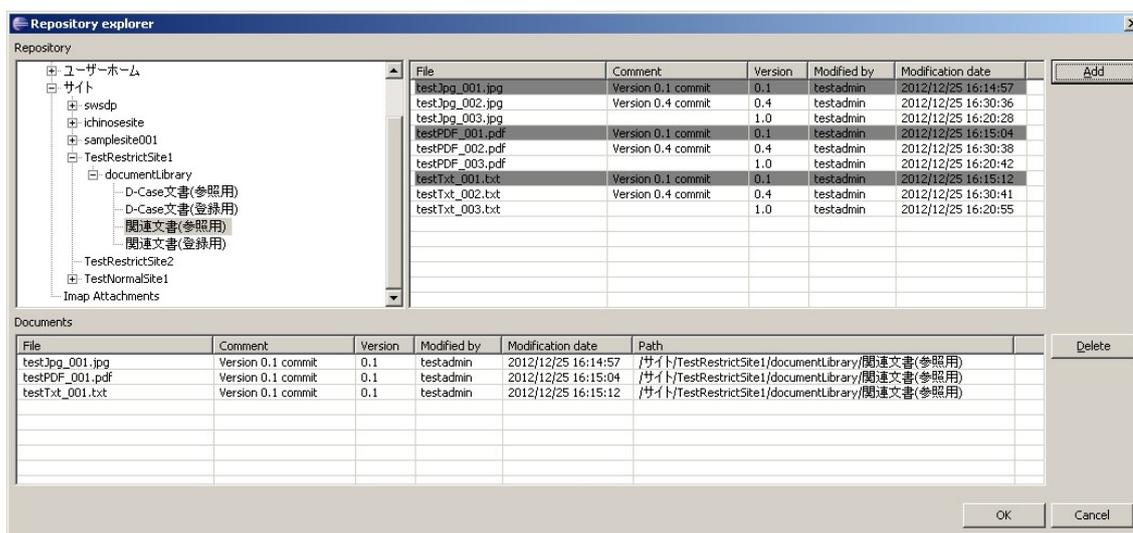


図 30

文書名が一致していても参照しているフォルダパスが一致しないなど、文書ファイルのユニーク ID が一致しない場合はグレー表示にはなりません。

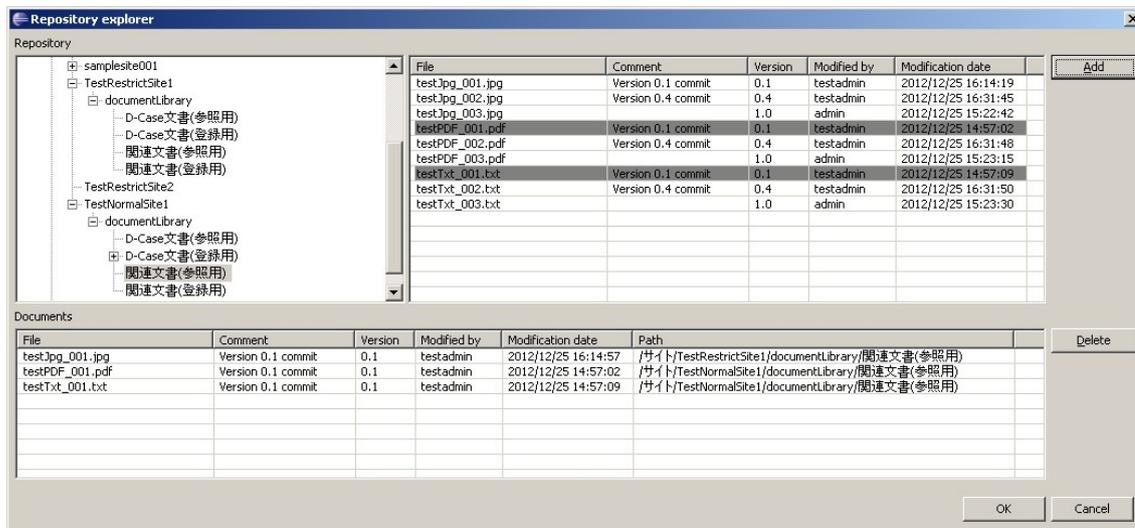


図 31

Documents へ関連付けを行いたい文書ファイルを追加し、“OK”ボタンを押すことで、呼び出し元となったノードの CMISInfo 属性に文書ファイルの情報が格納され、ノードと文書ファイルが関連付けられます。

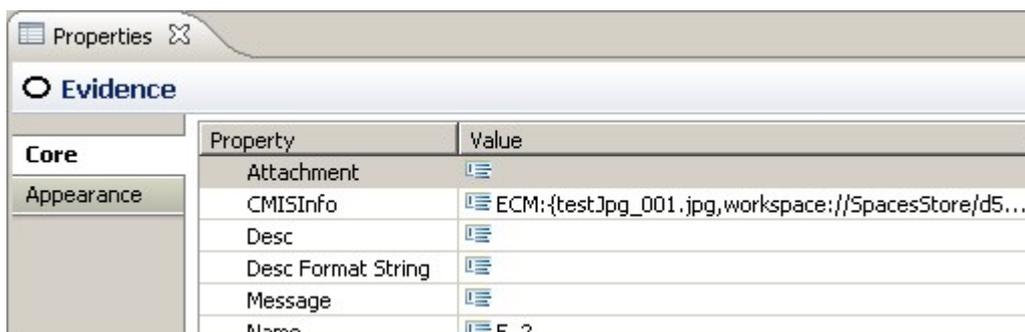


図 32

4. 関連付けの削除

関連文書を持つノードの上にマウスを置いて、“Document”>“Repository browse”を選び、サブメニューとして表示されている Workspace 名を選びます。

“Repository explorer”では、関連付けを確認できる情報は Documents に並べられます。

関連付けを削除したい文書ファイルがある場合は、この Documents からその情報を選び、“Delete”ボタンでリストから削除し、“OK”ボタンで確定することでノードの CMISInfo 属性の値を更新します。

リストからの削除は参照情報だけを削除し、リポジトリ上の実体は削除しません。

Alfresco Community のリポジトリから文書ファイルが削除されている場合は、“Repository explorer”を開いた時点で Documents から情報が消えていますので、“OK”ボタンで確定して CMISInfo 属性の値を更新します。

7. ノードに関連付けられた文書を表示する

1. 機能の目的

関連文書をリポジトリからダウンロードし、対応するエディタ表示します。

なお、ダウンロードした文書ファイルに対応するアプリケーションが存在しない場合は、文書はダウンロードされますが、文書ファイルは表示されない場合があります。

2. 表示メニューの呼び出し

関連文書を持つ Context、Justification、Evidence のいずれかのノードにマウスを移動させ、右クリックで表示されるコンテキストメニューから“Document”>“Open”を選びます。

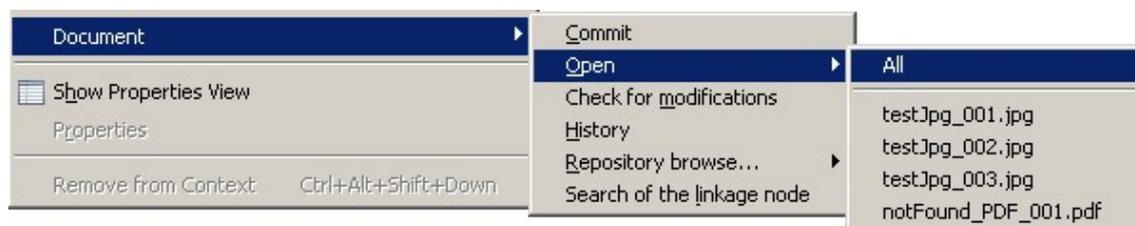


図 33

サブメニューに“All”という固定メニューと、関連付けられた文書ファイルのファイル名が動的に追加されるメニューが表示されます。

全ての文書を表示する場合は“All”を選び、個別に表示する場合は文書ファイル名を選択してください。

8. リポジトリの D-Case 文書を探して表示する

1. 機能の目的

既にリポジトリ上に存在する D-Case 文書を、ローカル環境にダウンロードしてエディタで表示します。

2. D-Case explorer の呼び出し

D-Case メニューから“Document workspace”>“browse”を選びます。

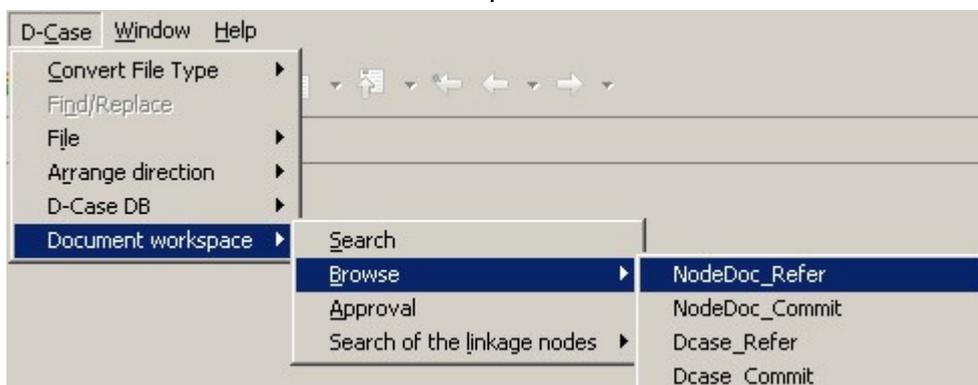


図 34

サブメニューとして Preference で設定した Workspace の名称が表示されますので、接続先としていずれかを選択することで、“D-Case explorer”が表示されます。

初期表示フォルダは、Workspace に設定されているフォルダパスの指定に従います。

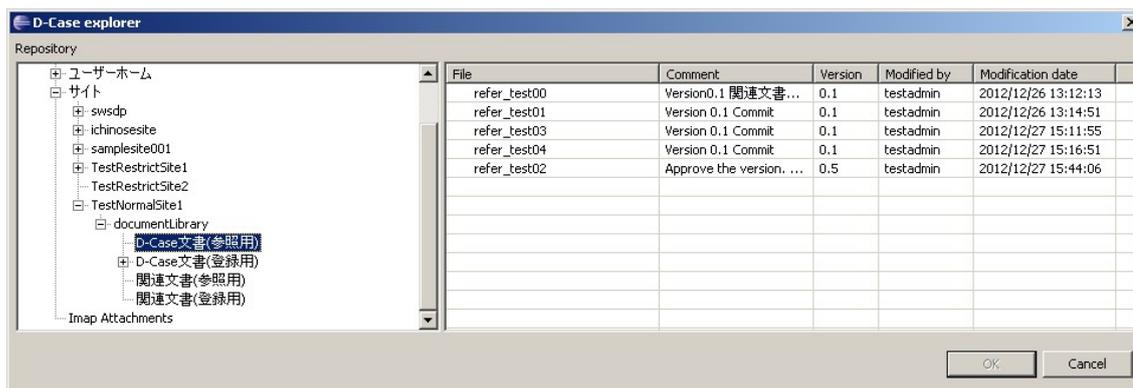


図 35

フォルダツリーを移動し、目的の D-Case 文書を探します。

この画面で表示されるファイルは、D-Case 文書のみとなっています。

ダウンロードする D-Case 文書を一覧から選択し、“OK”ボタンを押します。

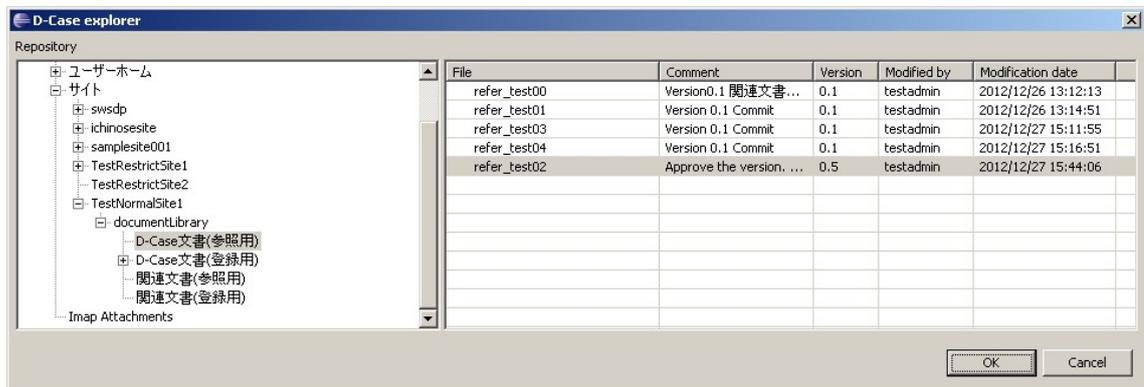


図 36

保存先を選択するダイアログが表示されます。

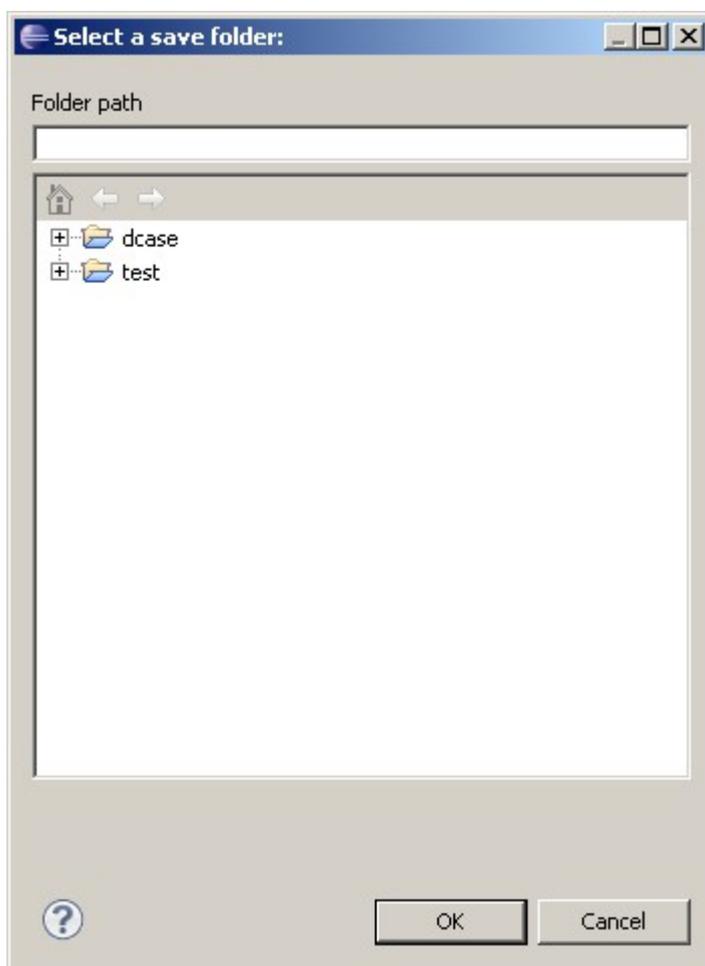


図 37

保存先のフォルダを選択し、“OK”ボタンを押します。

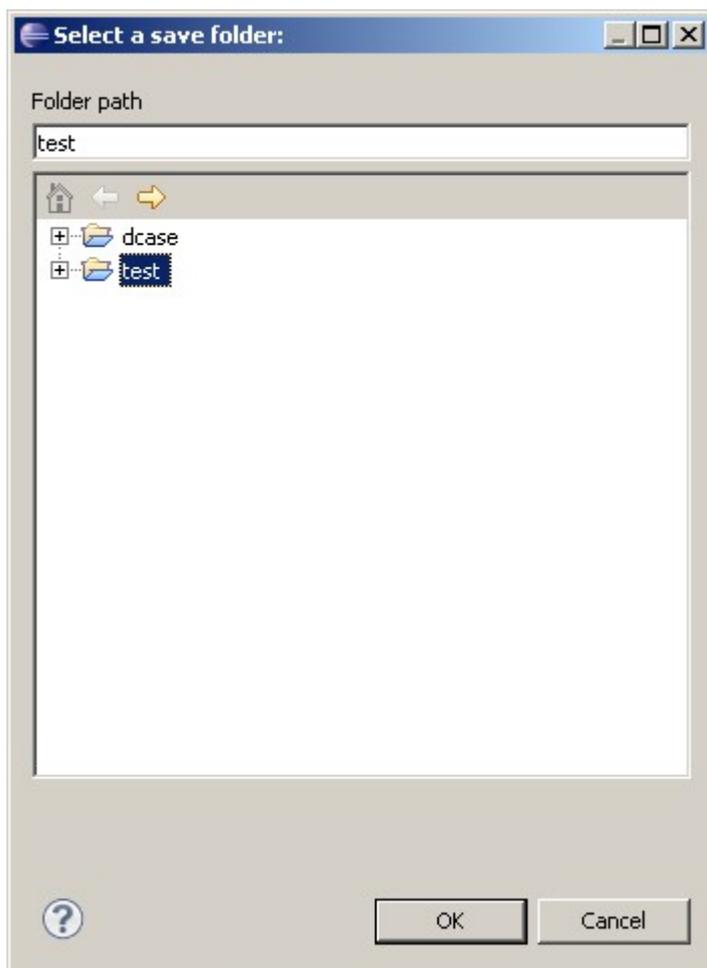


図 38
D-Case 文書のダウンロード状況を示すプログレス画面が表示されます。

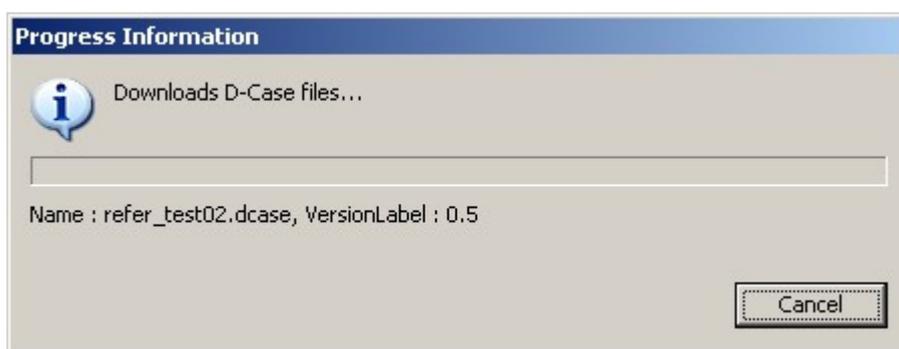


図 39
進捗が進みダウンロードが完了すると、新しい D-Case エディタのタブにダウンロードされた D-Case 文書が表示されます。

9. D-Case 文書の承認

1. 機能の目的

リポジトリ内に格納されている D-Case 文書に対し、バージョン情報のカウントアップ作業を行い、その際のコミットログに承認の定型文と、承認メンバーの名前を格納し、該当バージョンの D-Case 文書が特定メンバーによる合意を得ていることを示します。

2. 承認画面の呼び出し

D-Case メニューから“Document workspace” > “Approval”を選びます。

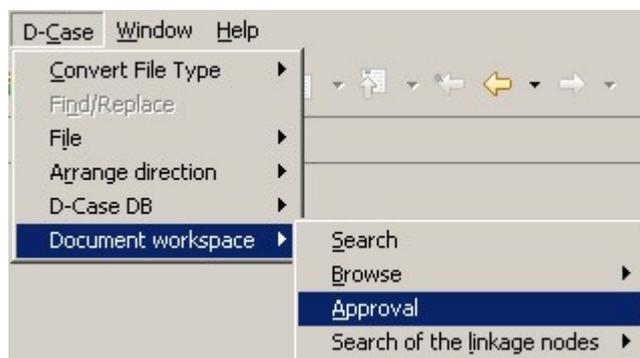


図 40

メニューを選ぶと“Approval D-Case”画面が表示されます。

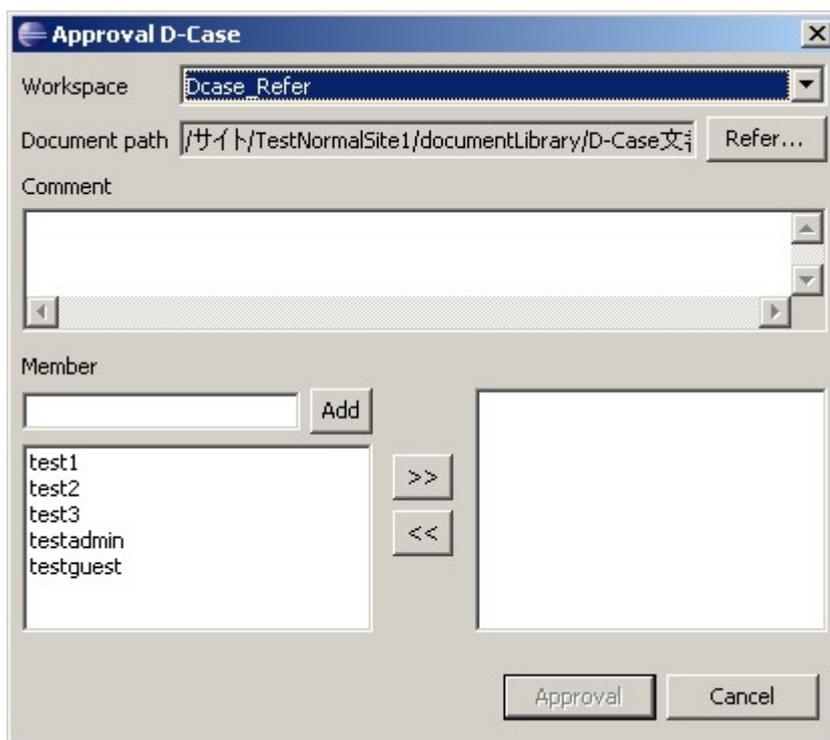


図 41

操作項目の説明

Workspace

Preference で設定した Workspace の名称が表示されます。

検索先となるリポジトリ情報とアカウント情報を持つ Workspace を選択します。

“.dcase_attr”を持つ D-Case 文書の場合、既存の関連付け情報から Workspace の初期値が反映されます。

Document path

承認を行う D-Case 文書の、リポジトリ上のフルパスを指定します。

“Refer”ボタンから“D-Case explorer”画面を表示して選択します。

“.dcase_attr”を持つ D-Case 文書の場合、既存の関連付け情報から Document path の初期値が反映されます。

“D-Case explorer”画面の操作は【[フォルダ参照](#)】を参照してください。

Comment

コミットコメントを入力します。

ここで入力されるコメントの前に、定型文と選択されたメンバー情報が挿入され、Alfresco Community のコミットログに記録されます。

定型文のフォーマット

Approve the version. {yyyy/MM/dd hh:mm:ss}.
 {Approval member}

Member

承認を了承したメンバーの名称を追加します。

フリーテキストから“Add”ボタンを使って追加するか、登録済みのメンバーリストから選択し、“>>”ボタンと“<<”ボタンの操作で、追加削除を行います。

Approval ボタン

Document path の値で、承認する D-Case 文書が選択されると、“Approval”ボタンが有効化されます。

“Approval”ボタンを押すと、リポジトリ上の D-Case 文書への、バージョンの更新作業が開始されます。

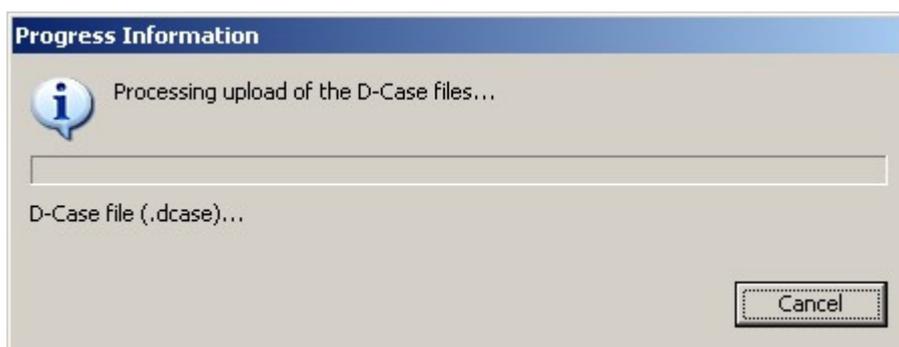


図 42

更新作業が終了すると、完了メッセージが表示されます。



図 43

承認情報のバージョン履歴は、Alfresco Community の文書属性で確認できます。



図 44

確認の手順は【[Alfresco Community でのバージョン履歴の閲覧手順](#)】を参照してください。

10. 関連文書の変更を検出する

1. 機能の目的

D-Case 文書に記述されている関連文書に、何らかの変更が行われていないかを確認し、記述時と差異が発生しているノードを提示します。

2. Check for modification view の呼び出し

D-Case メニューから“Document workspace”>“Check for modifications”を選びます。

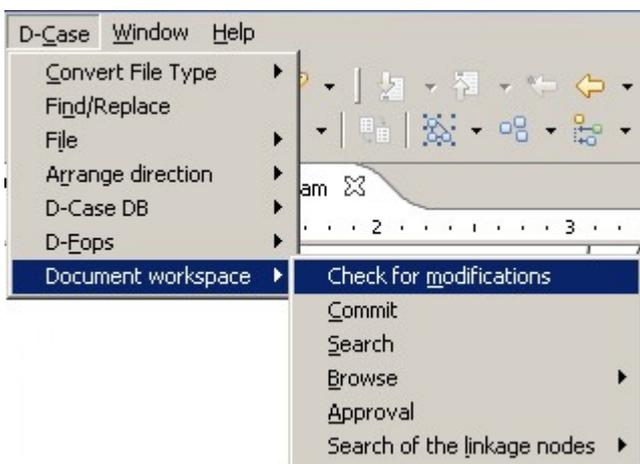


図 45

編集中の D-Case 文書内のノードに関連付けられている、全ての関連文書に対して状態の確認を行います。

特定のノードの変更状態を確認する場合は、関連付けを持つ Context、Justification、Evidence のいずれかのノード上にマウスを移動し、右クリックで表示されるコンテキストメニューから“Document”>“Check for modifications”を選びます。

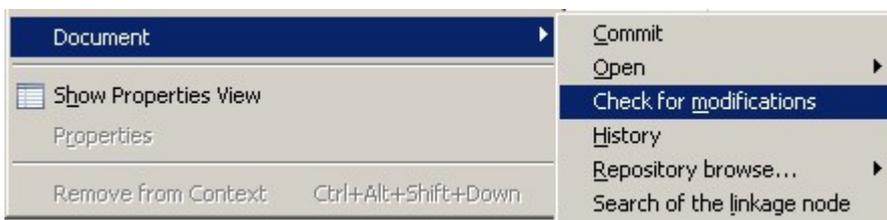


図 46

いずれかのメニューを選ぶと、変更の検出が開始され、変更されている関連文書の情報を持つノードは、背景色が黄色で表示されます。また変更点の詳細は、一覧表形式で、“Check for modifications” view に表示されます。

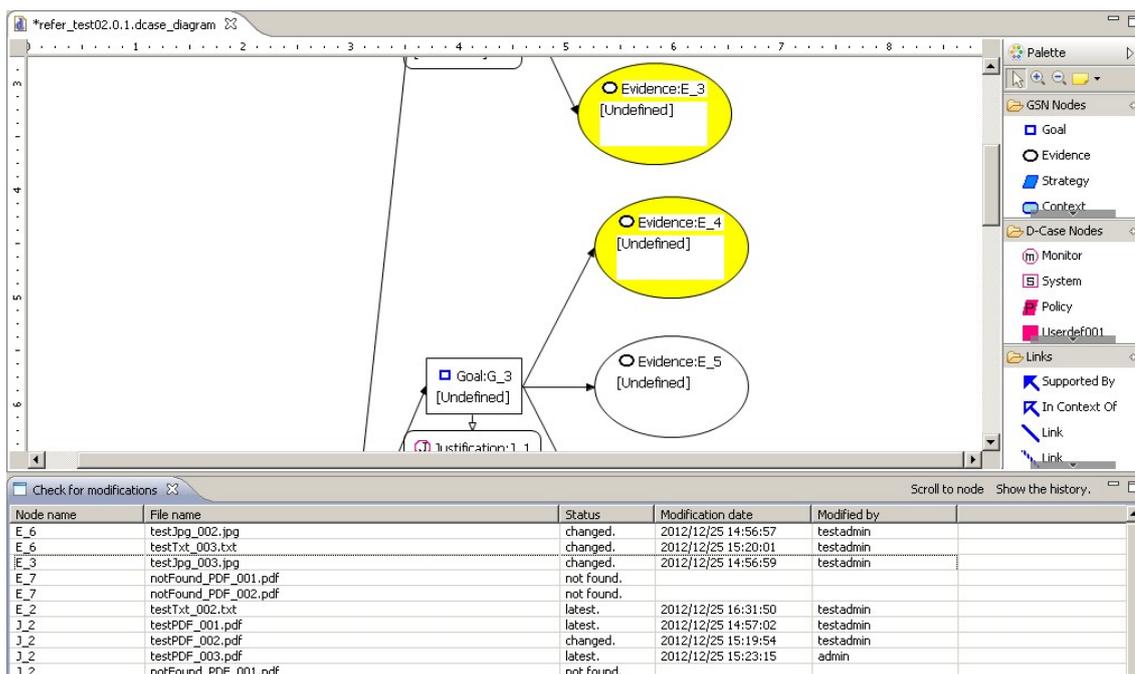


図 47

操作項目の説明

Scroll to node コマンドボタン

一覧表示上にリストされている変更の検出結果の行を選択し、“Scroll to node”コマンドボタンを選択すると、該当行の関連付けノードまでダイアグラムをスクロールします。

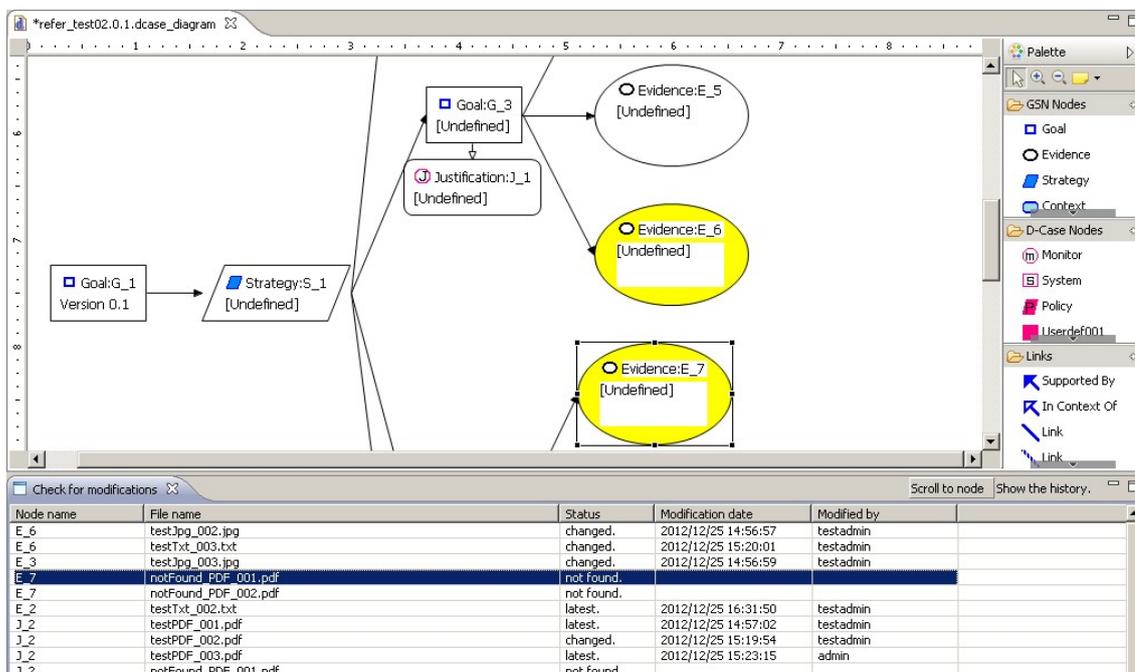


図 48

Show the history コマンドボタン

一覧表示上にリストされている変更の検出結果の行を選択し、“Show the history”コマンドボタンを選択すると、選択された関連文書の更新履歴を“History” view を開いて表示します。

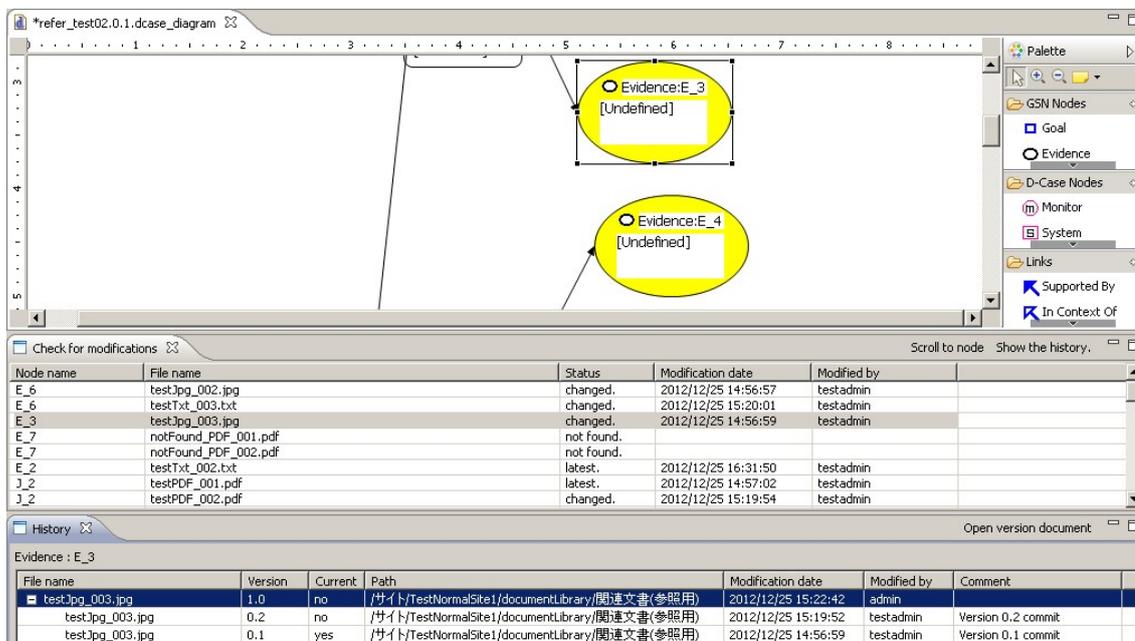


図 49

“History”View の Current 列に“yes”と表示されているバージョンが、ノードと関連付けを持つバージョンの文書となります。

“History”View の操作については【[文書ファイルの編集履歴を確認する](#)】をご参照ください。

3. 注意制限事項

文書の初回登録を Alfresco の Web 画面から行った場合

Alfresco に文書の登録を直接行った場合、その文書ファイルは、見た目上 1.0 というバージョンが付与されているものの、実際にはバージョン管理が行われていない場合があります。

Alfresco の既定の動作では、単純に文書を格納しただけではバージョン管理されません。

このような状態にある文書を、D-Case 文書に関連付けた場合、バージョンの確認が正確なまま行われ、結果として誤った結果を提示することになります。

これを回避するためには、文書が登録された場合に、自動的にバージョン管理下の文書に設定されるように、フォルダに対するルールを作成することをお勧めします。

別紙の「Alfresco 設置手順書」に『バージョン管理機能の有効化』という章を設けて、詳細な手順を説明しておりますので、参考にしてください。

Alfresco Share での操作は、対象フォルダにマウスカーソルを乗せると表示されるメニューから、「その他のアクション」→「ルールの管理」を選ぶことによって行うことができます。



図 50

11. 文書ファイルのバージョン履歴を確認する

1. 機能の目的

リポジトリに登録されている D-Case 文書、または、関連文書のバージョン履歴を表示し、対象となる文書のバージョンを確認する手段を提供します。

2. D-Case 文書の履歴画面の呼び出し

D-Case 文書の履歴を表示する場合は、表示している D-Case 文書のキャンバスを右クリックし、“Document”>“History”を選びます。



図 51

メニューを選択すると“History view”が表示されます。

File name	Version	Current	Path	Modification date	Modified by	Comment
refer_test02	0.5	yes	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文書(参照用)	2012/12/27 15:44:06	testadmin	Approve the version. 2012...

図 52

D-Case 文書にバージョン履歴がある場合は“History view”が表示されます。

文書に複数回のバージョン履歴がある場合、“File name”に“+”マークが表示されます。

“+”マークをマウスでクリックすると、バージョン履歴が展開表示されます。

File name	Version	Current	Path	Modification date	Modified by	Comment
+ refer_test02	0.5	yes	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文書(参照用)	2012/12/27 15:44:06	testadmin	Approve the version. 2012...
refer_test02	0.4	no	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文書(参照用)	2012/12/27 15:43:28	testadmin	Version 0.4 Commit
refer_test02	0.3	no	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文書(参照用)	2012/12/27 15:42:24	testadmin	Version 0.3 Commit
refer_test02	0.2	no	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文書(参照用)	2012/12/27 15:41:16	testadmin	Approve the version. 2012...
refer_test02	0.1	no	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文書(参照用)	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Version 0.1 Commit

図 53

カレントの D-Case 文書の文書情報と一致するバージョン文書には、“Current”列に“yes”と表示されます。

D-Case 文書にバージョン履歴がない場合にメニューを選択すると、エラーメッセージが表示されます。

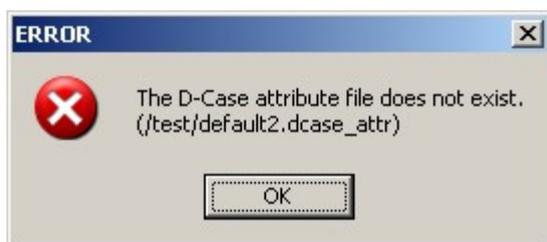


図 54

他のバージョンの D-Case 文書を表示する

展開されているバージョン履歴の中から、別のバージョンとなる D-Case 文書を選択し、“History view”の右上にある“Open version document”ボタンを選択します。

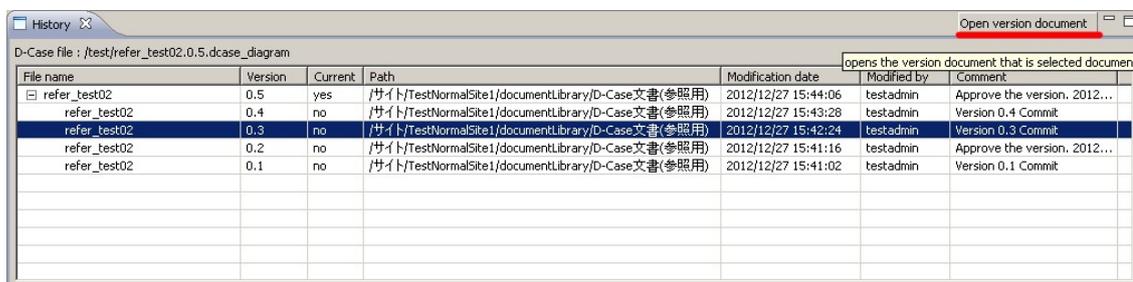


図 55

選択された文書はリポジトリからテンポラリのフォルダにダウンロードされ、新しい D-Case エディタのタブに表示されます。

3. ノードに関連付けた文書の履歴画面の呼び出し

関連文書の履歴を表示する場合は、Context、Justification、Evidence のいずれかで関連付けが行われているノードのうえにマウスを移動し、右クリックし、“Document”>“History”を選びます。



図 56

メニューを選択すると“History” view が表示されます。



図 57

ノードに関連付けられている全ての文書がリストアップされます。

文書に複数回の改定履歴がある場合、“File name”に“+”マークが表示されます。“+”マークをマウスでクリックすると、バージョン履歴が展開表示されます。

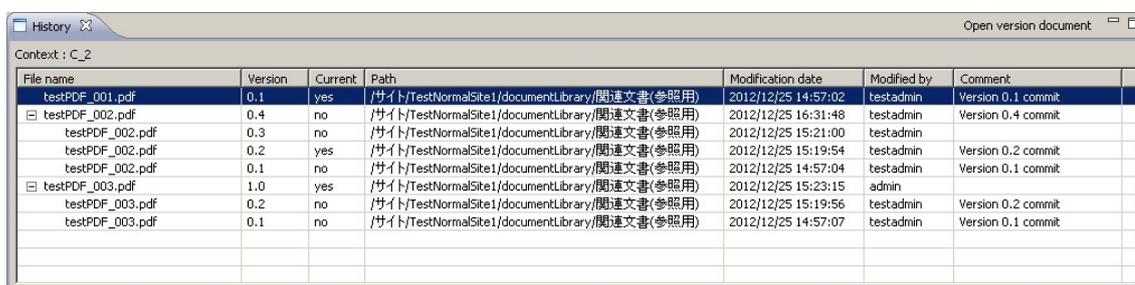


図 58

ノードに関連付けられている文書情報と一致するバージョン文書には、“Current”列に“yes”と表示されます。

他のバージョンの関連文書を表示する

展開されている改定履歴の中から、別のバージョンとなる関連文書を選択し、“History” view の右上にある“Open version document”ボタンを選択します。

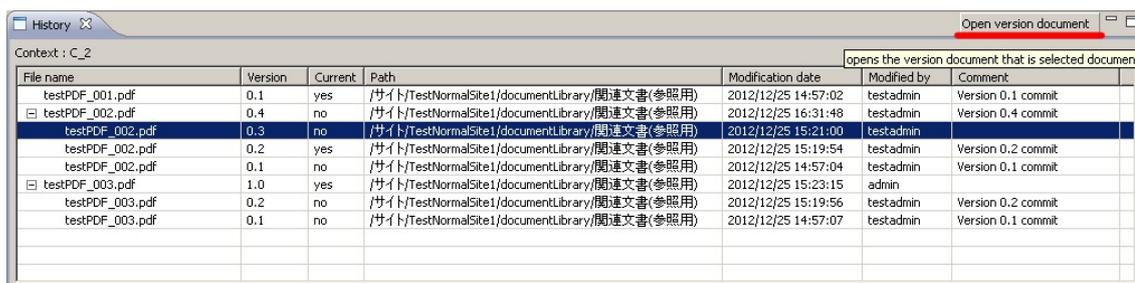


図 59

選択された文書はリポジトリからテンポラリのフォルダにダウンロードされ、対応するアプリケーションや eclipse の標準ブラウザで表示されます。

12. D-Case 文書の比較

1. 機能の目的

編集対象の文書とリポジトリ上の文書を比較し、変化した内容を確認します。

2. 文書比較用 D-Case explorer の呼び出し

D-Case エディタでキャンバスにマウスを移動させ、右クリックで表示されるコンテキストメニューから“Document”>“Compare”を選びます。

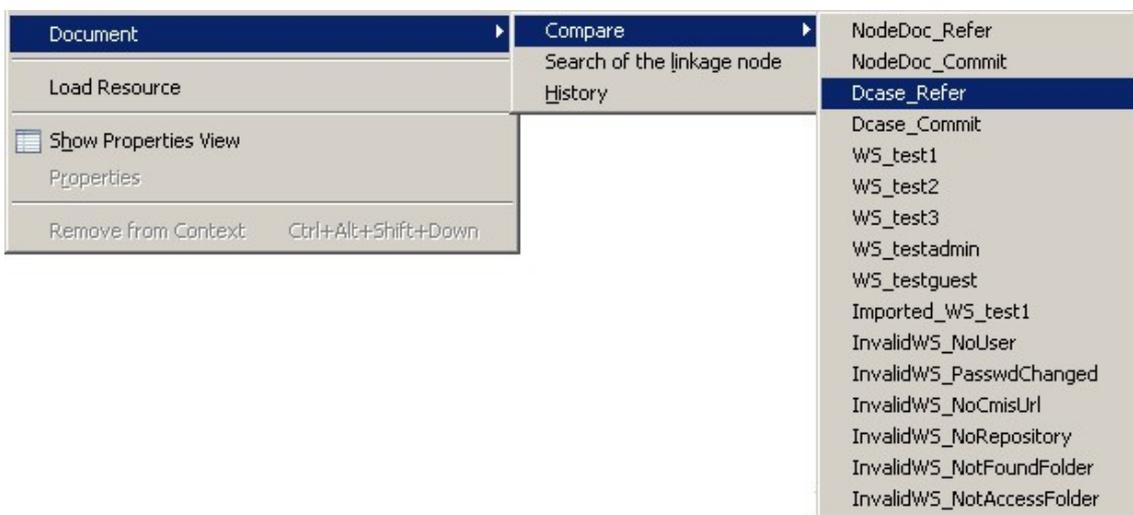


図 60

サブメニューとして Preference で設定した Workspace の名称が表示されますので、接続先としていずれかを選択することで、文書比較用の“D-Case explorer”が表示されます。

初期表示フォルダは、Workspace に設定されているフォルダパスの指定に従います。

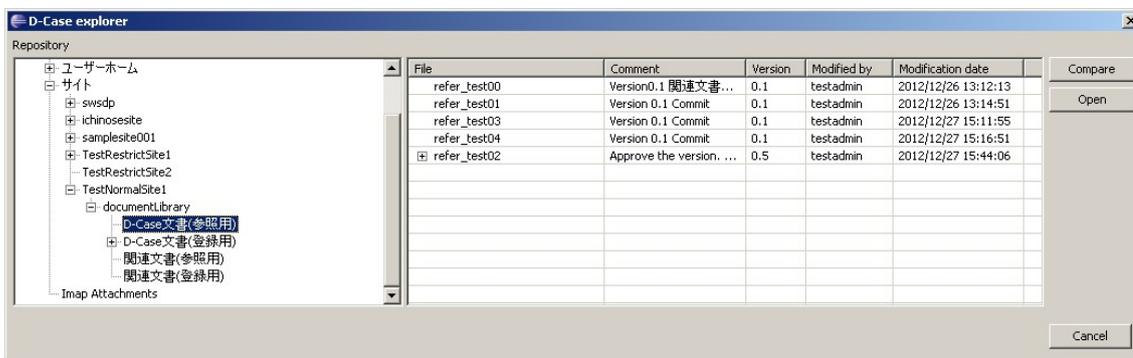


図 61

操作項目の説明

Compare ボタン

Repository のフォルダを比較対象とする D-Case 文書が格納されている階層まで移動し、D-Case 文書を選択します。

選択した状態で“Compare”ボタンを押すと、D-Case 文書をダウンロードし、D-Case エディタの Compare 機能によって文書の比較を行います。

Open ボタン

Repository のフォルダを比較対象とする D-Case 文書が格納されている階層まで移動し、D-Case 文書を選択します。

選択した状態で“Open”ボタンを押すと、D-Case 文書をダウンロードし、新しいタブにダウンロードした D-Case 文書を表示します。

13. D-Case 文書の検索

1. 機能の目的

リポジトリ内に格納されている D-Case 文書を、特定のキーワードや日付などを利用して探します。

検索対象は文書管理システムが文書に対して付与する属性値が対象となります。
文書内部の記述に対しては、検索の対象外となります。

2. Search of D-Case view の呼び出し

D-Case メニューから“Document workspace”>“Search”を選びます。

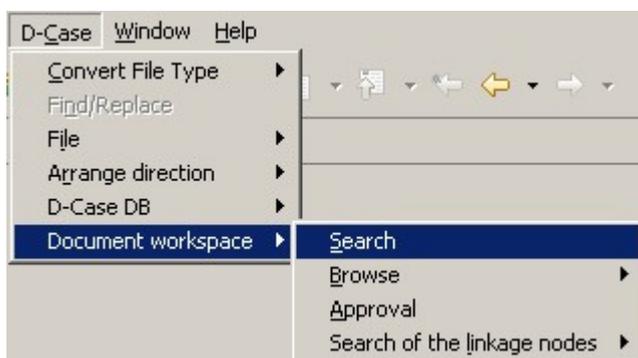


図 62

メニューを選ぶと Search of D-Case view が表示されます。

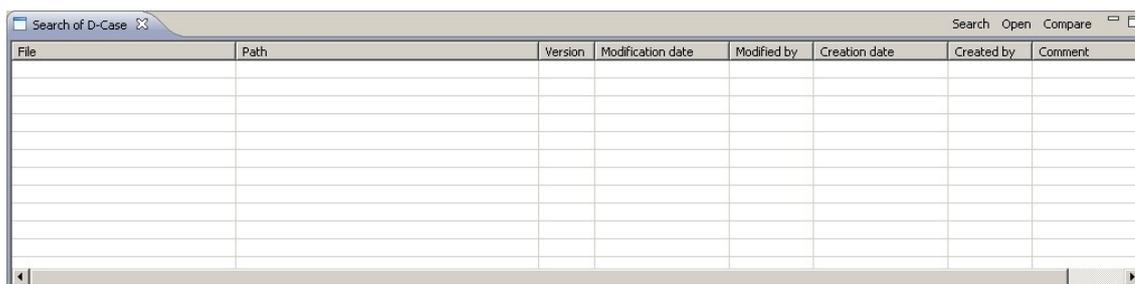


図 63

View の右上にあるコマンドボタン“Search”、“Open”、“Compare”で操作を行います。
“Open”、“Compare”は“Search”で行った検索結果に対して、対象の D-Case 文書の表示や比較を行います。

3. Search コマンドボタン

“Search”コマンドボタンを押すと、“Search of D-Case”画面が表示されます。

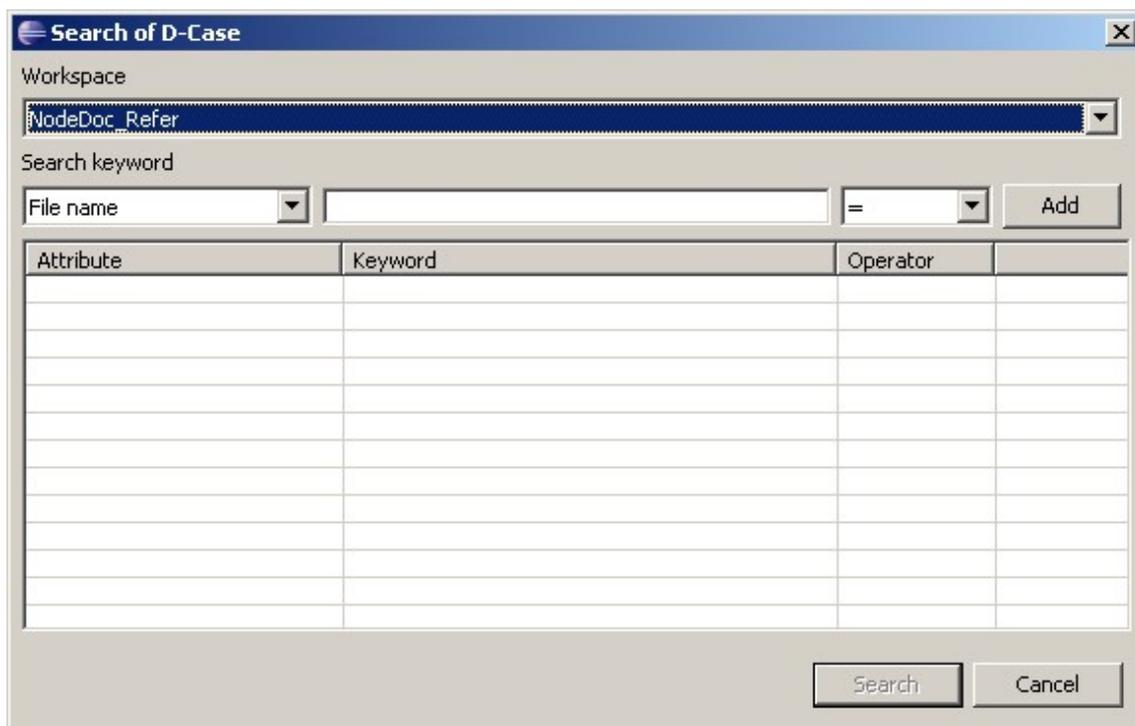


図 64

操作項目の説明

Workspace

Preference で設定した Workspace の名称が表示されます。

検索先となるリポジトリ情報とアカウント情報を持つ Workspace を選択します。

Search keyword

検索キーワードを設定します。

文書に付与される属性値の内、検索対象とする属性と値、オペレータを複数設定することが出来ます。

複数のキーワードは AND で検索が実行されます。

キーワードが設定されると“Search”ボタンが有効となり、検索の実行が出来ます。

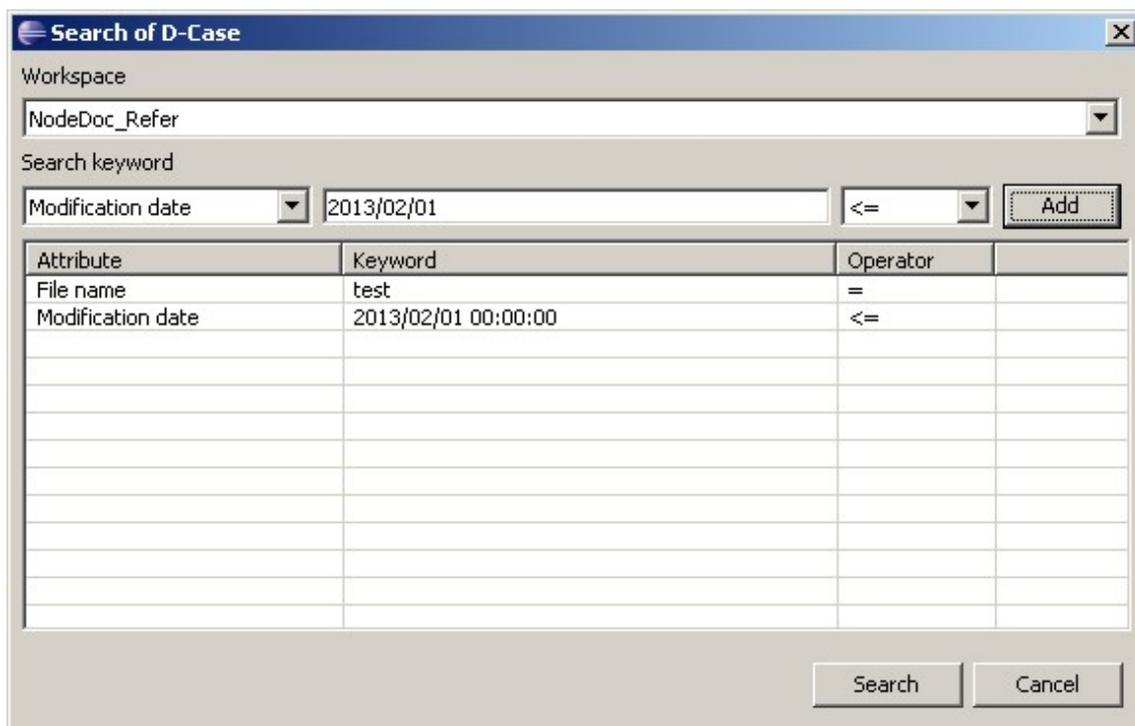


図 65

検索キーワードの対象

- ファイル名(=、<>)
- フォルダパス(無効)
- 作成者(=、<>)
- 作成日(=、<>、<=、>=)
- 更新者(=、<>)
- 更新日(=、<>、<=、>=)
- コメント(=、<>)

※文字列に対する=、<>の動作は、「=:含む」、「<>:含まない」となっています。

※フォルダパスの指定は、サブフォルダも対象として含めるものとします。

4. 検索結果への操作

検索を実行し、一致する結果が得られると、View に結果が一覧表示されます。

File	Path	Version	Modification date	Modified by	Creation date	Created by	Comment
refer_test03	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/27 15:11:55	testadmin	2012/12/27 15:11:55	testadmin	Version 0.1 Commit
refer_test04	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/27 15:16:51	testadmin	2012/12/27 15:16:51	testadmin	Version 0.1 Commit
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.5	2012/12/27 15:44:06	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Approve the versio
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.5	2013/01/18 15:07:05	testadmin	2013/01/18 15:04:58	testadmin	Approve the versio
refer_test03	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.1	2013/01/18 15:07:44	testadmin	2013/01/18 15:07:44	testadmin	Version 0.1 Commit
refer_test04	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.1	2013/01/18 15:08:04	testadmin	2013/01/18 15:08:04	testadmin	Version 0.1 Commit
refer_test00	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/26 13:12:13	testadmin	2012/12/26 13:12:13	testadmin	Version0.1 関連文...
refer_test01	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/26 13:14:51	testadmin	2012/12/26 13:14:51	testadmin	Version 0.1 Commit
refer_test00	/ユーザーホーム/test1	0.5	2013/01/08 14:41:53	test1	2013/01/08 13:26:46	test1	Approve the versio
refer_test00	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.1	2013/01/18 15:02:04	testadmin	2013/01/18 15:02:04	testadmin	Version0.1 関連文...
refer_test01	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.1	2013/01/18 15:04:05	testadmin	2013/01/18 15:04:05	testadmin	Version 0.1 Commit

図 66

複数バージョンが存在する文書は、ツリー表示形式で各バージョン文書を提示します。

File	Path	Version	Modification date	Modified by	Creation date	Created by	Comment
refer_test03	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/27 15:11:55	testadmin	2012/12/27 15:11:55	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test04	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/27 15:16:51	testadmin	2012/12/27 15:16:51	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.5	2012/12/27 15:44:06	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Approve the ve
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.4	2012/12/27 15:43:28	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Version 0.4 Corr
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.3	2012/12/27 15:42:24	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Version 0.3 Corr
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.2	2012/12/27 15:41:16	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Approve the ve
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/27 15:41:02	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test02	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.5	2013/01/18 15:07:05	testadmin	2013/01/18 15:04:58	testadmin	Approve the ve
refer_test03	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.1	2013/01/18 15:07:44	testadmin	2013/01/18 15:07:44	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test04	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.1	2013/01/18 15:08:04	testadmin	2013/01/18 15:08:04	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test00	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/26 13:12:13	testadmin	2012/12/26 13:12:13	testadmin	Version0.1 関連
refer_test01	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/26 13:14:51	testadmin	2012/12/26 13:14:51	testadmin	Version 0.1 Corr

図 67

5. Open コマンドボタン

検索結果の一覧表示から表示を行う文書を選び、保存先を選ぶことで D-Case 文書の表示を行います。

表示する文書選択は、複数同時に行うことができます。

File	Path	Version	Modification date	Modified by	Creation date	Created by	Comment
refer_test03	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/27 15:11:55	testadmin	2012/12/27 15:11:55	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test04	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/27 15:16:51	testadmin	2012/12/27 15:16:51	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.5	2012/12/27 15:44:06	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Approve the ve
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.4	2012/12/27 15:43:28	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Version 0.4 Corr
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.3	2012/12/27 15:42:24	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Version 0.3 Corr
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.2	2012/12/27 15:41:16	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Approve the ve
refer_test02	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/27 15:41:02	testadmin	2012/12/27 15:41:02	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test02	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.5	2013/01/18 15:07:05	testadmin	2013/01/18 15:04:58	testadmin	Approve the ve
refer_test03	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.1	2013/01/18 15:07:44	testadmin	2013/01/18 15:07:44	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test04	/サイト/TestRestrictSite1/documentLibrary/D-Case...	0.1	2013/01/18 15:08:04	testadmin	2013/01/18 15:08:04	testadmin	Version 0.1 Corr
refer_test00	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/26 13:12:13	testadmin	2012/12/26 13:12:13	testadmin	Version0.1 関連
refer_test01	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/D-Case文...	0.1	2012/12/26 13:14:51	testadmin	2012/12/26 13:14:51	testadmin	Version 0.1 Corr

図 68

表示する D-Case 文書の選択後に“Open”コマンドボタンを選択すると、文書ファイルの保存先を選択するダイアログが表示されます。



図 69
保存先のフォルダを選択し、“OK”ボタンを押します。

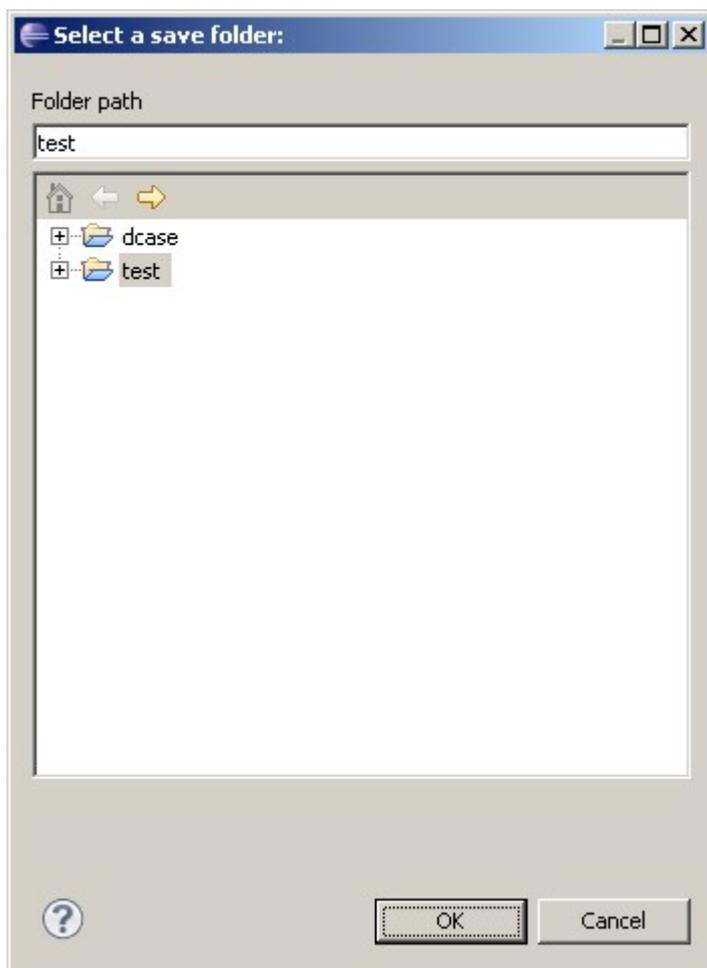


図 70

D-Case 文書のダウンロード状況を示すプログレス画面が表示されます。

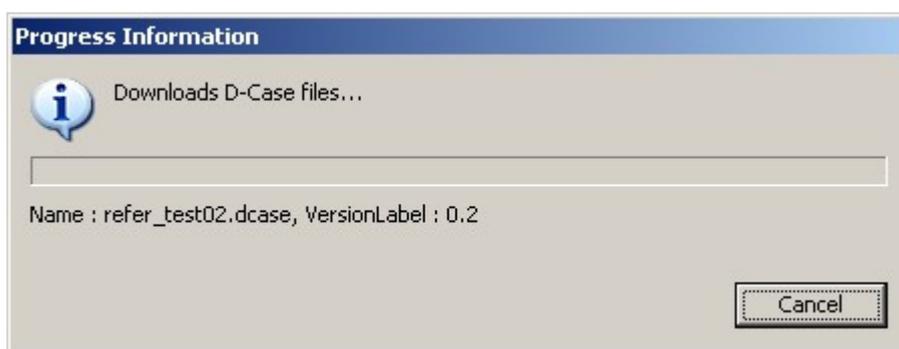


図 71

進捗が進みダウンロードが完了すると、新しい D-Case エディタのタブにダウンロードされた D-Case 文書が表示されます。

6. Compare コマンドボタン

検索結果の一覧表示から D-Case 文書の比較を行うことができます。

比較を行う 2 つの D-Case 文書を選びます。

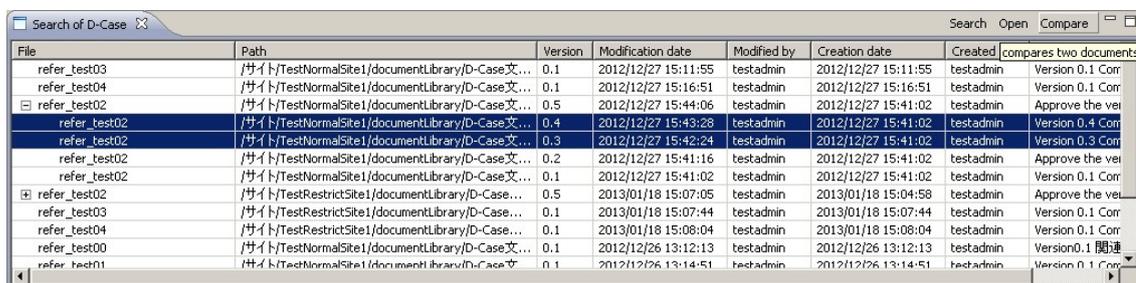


図 72

比較する D-Case 文書の選択後に“Compare”コマンドボタンを選択すると、作業用フォルダに D-Case 文書のダウンロードを行います。

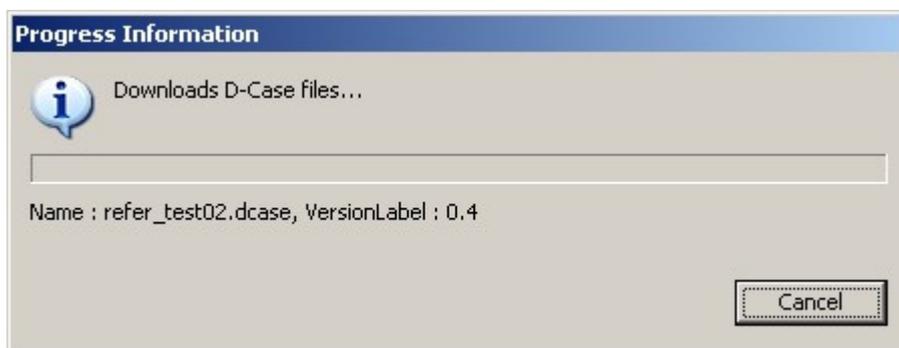


図 73

ダウンロードが完了すると自動的に比較が始まり、新しいタブに比較結果の表示が行われます。

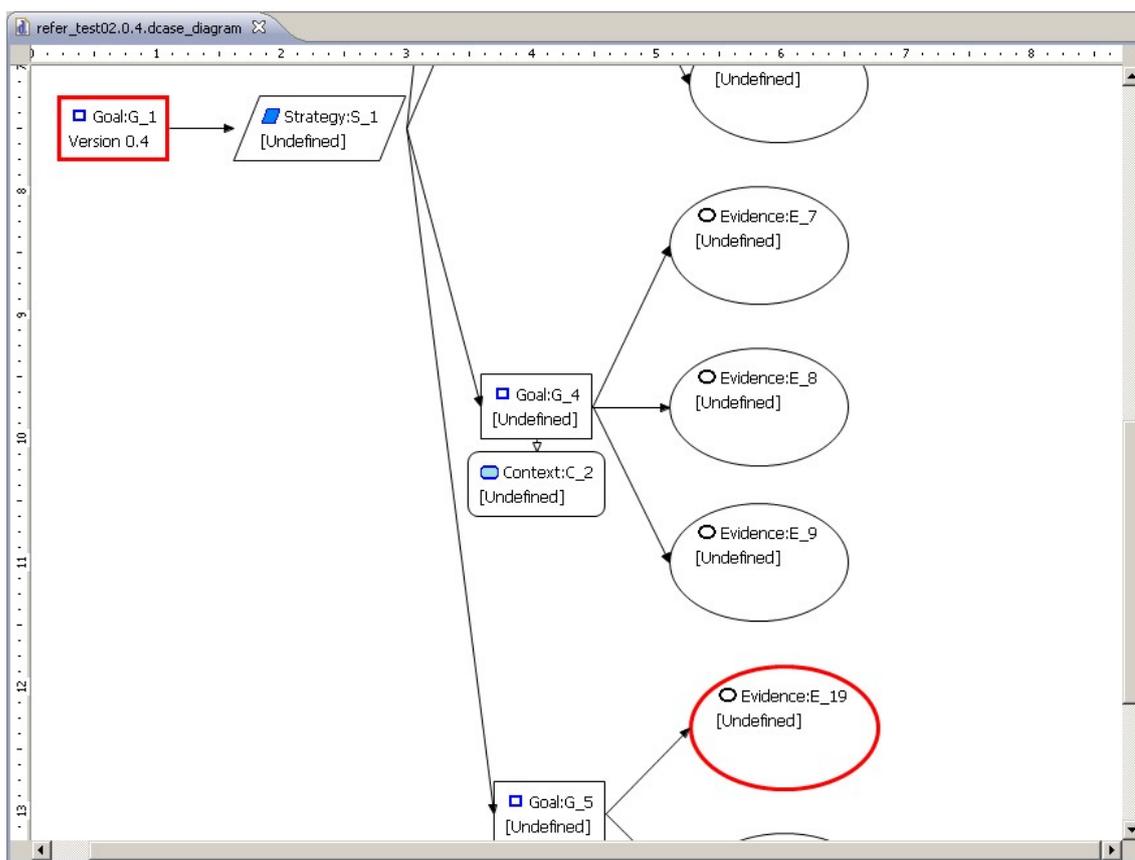


図 74

7. 注意制限事項

“Open”、“Compare”でダウンロードされるファイル

複数の D-Case 文書をダウンロードし、バージョンの違う文書同士もダウンロード可能とするため、D-Case 文書名にバージョン番号を付与してダウンロードします。

異なるバージョンツリーの文書同士を選択し、ダウンロードする場合は、作成されるファイル名が同じになる可能性があります。

この場合、警告などは特に表示せず、“Open”では後からダウンロードした文書で上書きし、表示を行います。“Compare”では同一ファイルの比較が行われます。

日時の検索

Alfresco Community での CMIS 経由の検索では、以下のような制限が確認されています。

日時をキーとする CMIS 経由の検索は、Version 4.2.b 以降から確認できます。

日時をキーとする検索では、どの検索オペレータを利用しても、日付部分は評価されますが、時刻部分は無視されています。(Version 4.2.b 時点)

14. リポジトリ上の文書と関係する D-Case 文書を探す

1. 機能の目的

リポジトリ上に登録されている文書が、eclipse のワークベンチに格納されている D-Case 文書の中で参照されているかを検索します。

文書変更時の影響範囲の確認などに利用できます。

2. 探索機能の呼び出し

D-Case メニューから“Document workspace”>“browse”を選びます。

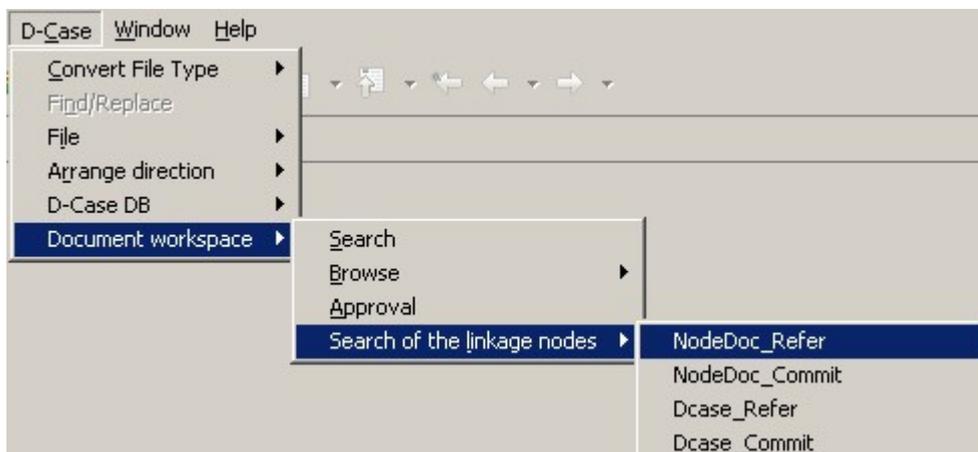


図 75

サブメニューとして Preference で設定した Workspace の名称が表示されますので、接続先としていずれかを選択することで、“D-Case explorer”が表示されます。

初期表示フォルダは、Workspace に設定されているフォルダパスの指定に従います。

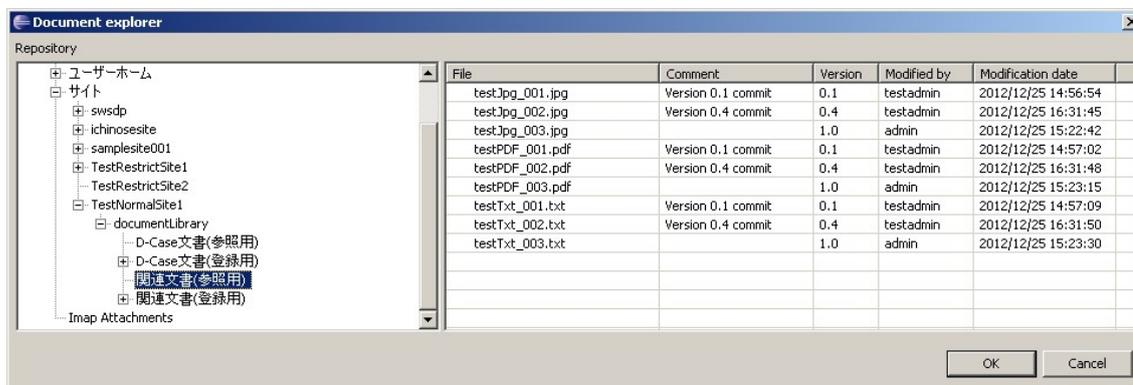


図 76

フォルダツリーを移動し、目的の文書を探します。

探索する文書を一覧から選択し、“OK”ボタンを押します。

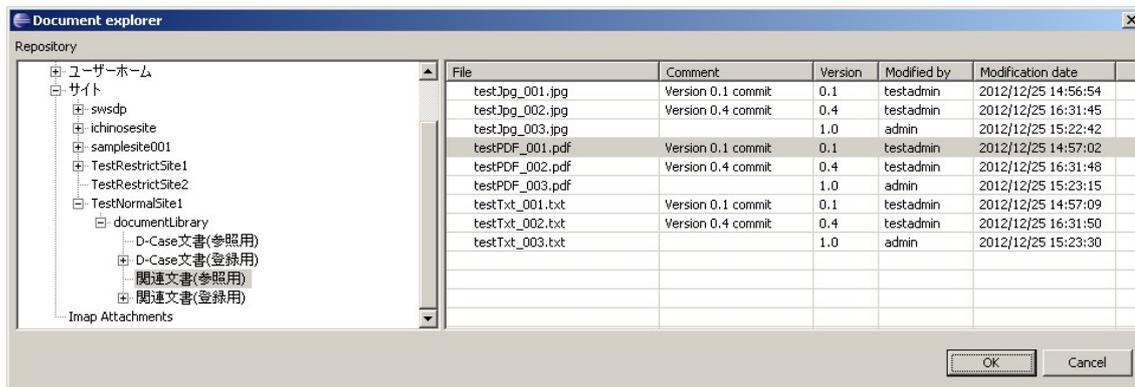


図 77

“OK”ボタンを押すと、探索先となる eclipse ワークベンチ内のフォルダを選択する画面が表示されます。

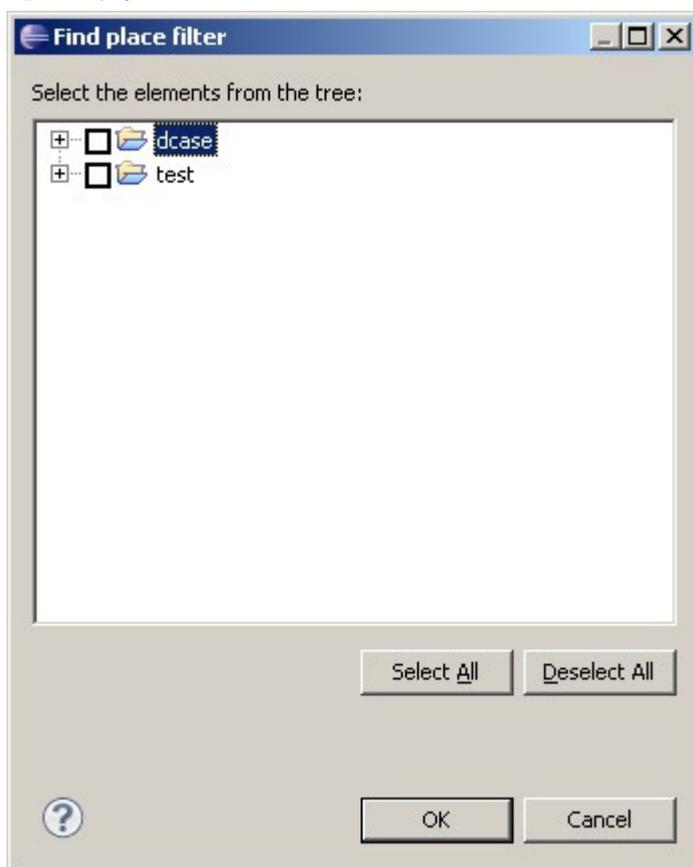


図 78

探索先とするフォルダを、ツリー表示のチェックボックスで選択状態にし、“OK”ボタンを押します。

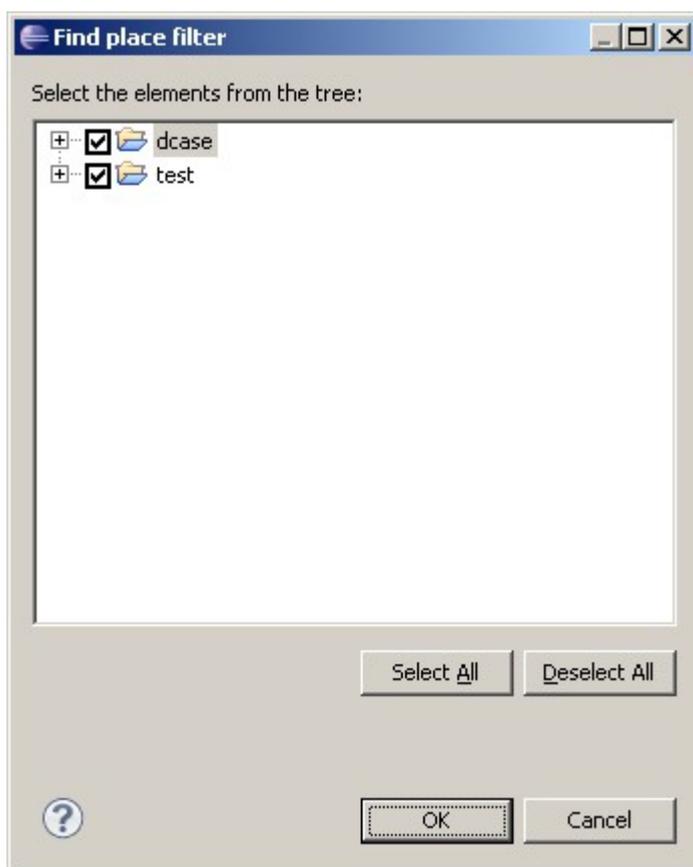


図 79

“OK”ボタンが押されると、検索状況の表示と、“Linkage nodes of the Documents.”Viewを表示し、選択されたフォルダ内に保存されているD-Case 文書のノードから、指定されたりポジトリ文書との関連付けを検索します。

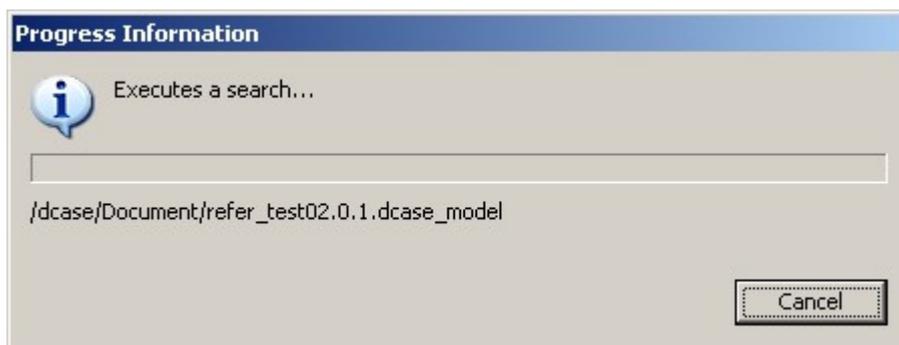


図 80

検索による抽出結果は、“Linkage nodes of the Documents.”Viewに逐次追加されます。

Resource path	D-Case	Node	File name	Path	Vers...	Workspace name
/dcase/Document	refer_test02.0.1	C_1	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.1	C_2	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.1	J_1	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.1	J_2	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.1	E_9	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.1	E_19	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.2	C_1	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.2	C_2	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.2	J_1	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.2	J_2	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.2	E_9	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.2	E_19	testPDF_001.pdf	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書...	0.1	NodeDoc_Refer

図 81

操作項目の説明

Scroll to node コマンドボタン

一覧表示上にリストされている抽出結果の行を選択し、“Scroll to node”コマンドボタンを選択すると、該当行の D-Case 文書を表示し、関連付けノードまでダイアグラムをスクロールします。

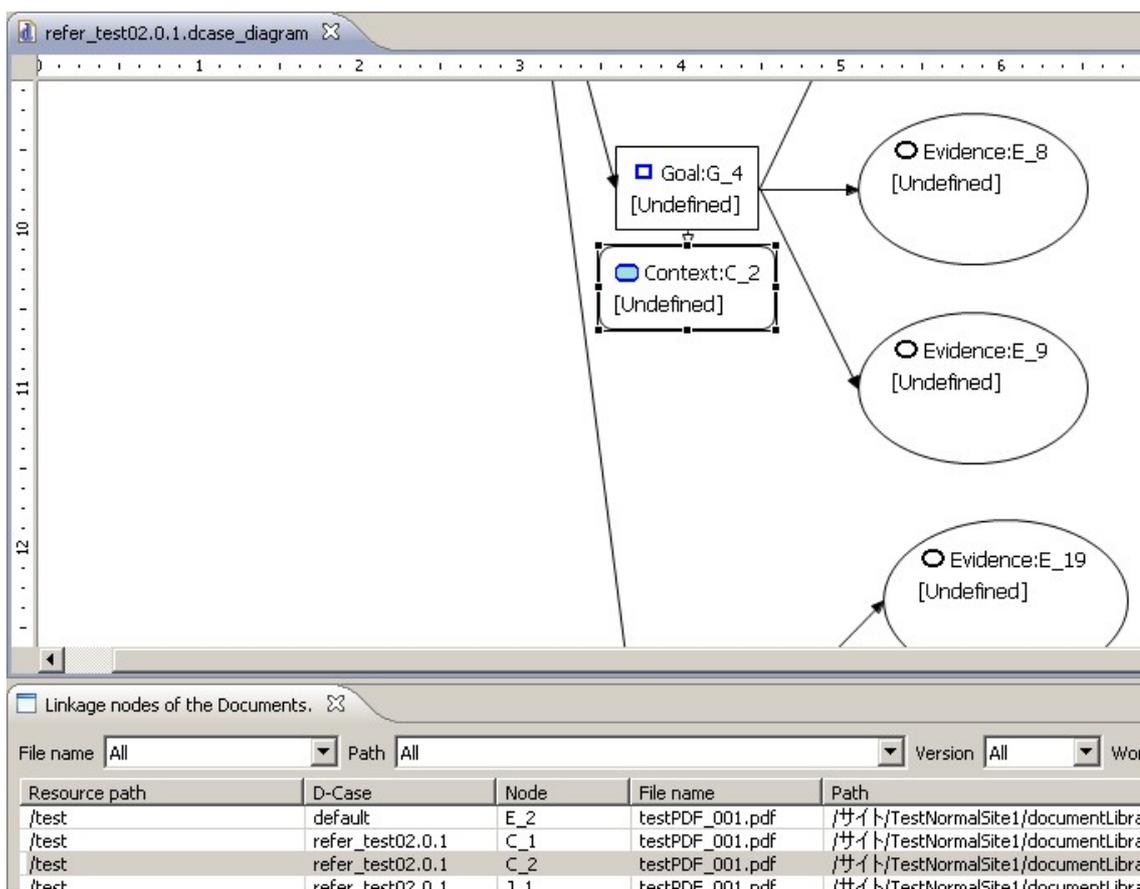


図 82

Copy コマンドボタン

一覧表示の抽出情報を、CSV 形式でクリップボードにコピーします。

Resource path,D-Case,Node,File name,Path,Version,Workspace name
/dcase/Document,refer_test02.0.1,C_1,testPDF_001.pdf,/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(参照用),0.1,NodeDoc_Refer
/dcase/Document,refer_test02.0.1,C_2,testPDF_001.pdf,/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(参照用),0.1,NodeDoc_Refer
/dcase/Document,refer_test02.0.1,J_1,testPDF_001.pdf,/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(参照用),0.1,NodeDoc_Refer
/dcase/Document,refer_test02.0.1,J_2,testPDF_001.pdf,/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(参照用),0.1,NodeDoc_Refer
/dcase/Document,refer_test02.0.1,E_9,testPDF_001.pdf,/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(参照用),0.1,NodeDoc_Refer

表 2

コピー内容は、プルダウンメニューによる絞り込み結果を反映してコピーを行います。

Refresh コマンドボタン

再度ワークベンチ内を検索し、絞り込みも初期化して、再表示を行います。

File name、Path、Version、Workspace name プルダウンメニュー

一覧表示に表示されているそれぞれの項目による絞り込み指定を行います。

検索結果から各絞り込み項目のリストが作成されますので、プルダウンメニューから対象の絞り込みを行い、一覧表示を見通しやすくします。

15. 編集中の D-Case 文書ノードと同じ関連文書を持つ D-Case 文書を探す

1. 機能の目的

現在編集している D-Case 文書のノードで参照している文書が、他の D-Case 文書で参照されているかを検索します。

文書変更時の影響範囲の確認などに利用できます。

2. 探索機能の呼び出し

キャンバス上か関連付け情報のある Context、Justification、Evidence のいずれかのノードにマウスを移動させ、右クリックで表示されるコンテキストメニューから“Document”> “Search of the linkage node”を選びます。

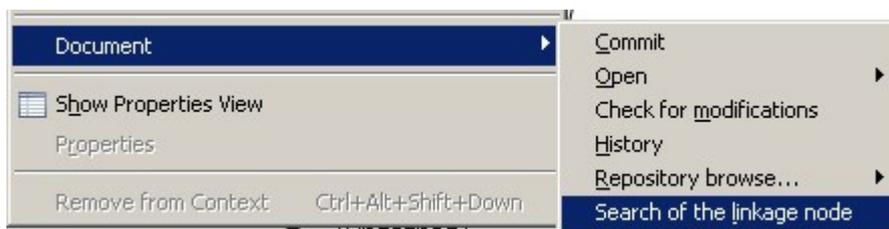


図 83

選択すると、探索先となる eclipse ワークベンチ内のフォルダを選択する画面が表示されます。

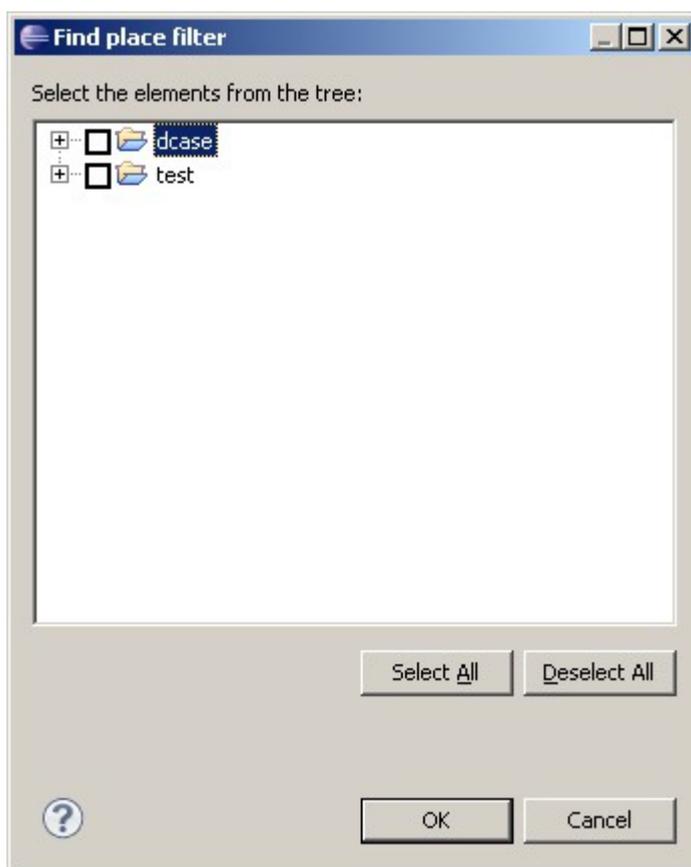


図 84

探索先とするフォルダを、ツリー表示のチェックボックスで選択状態にし、“OK”ボタンを押します。

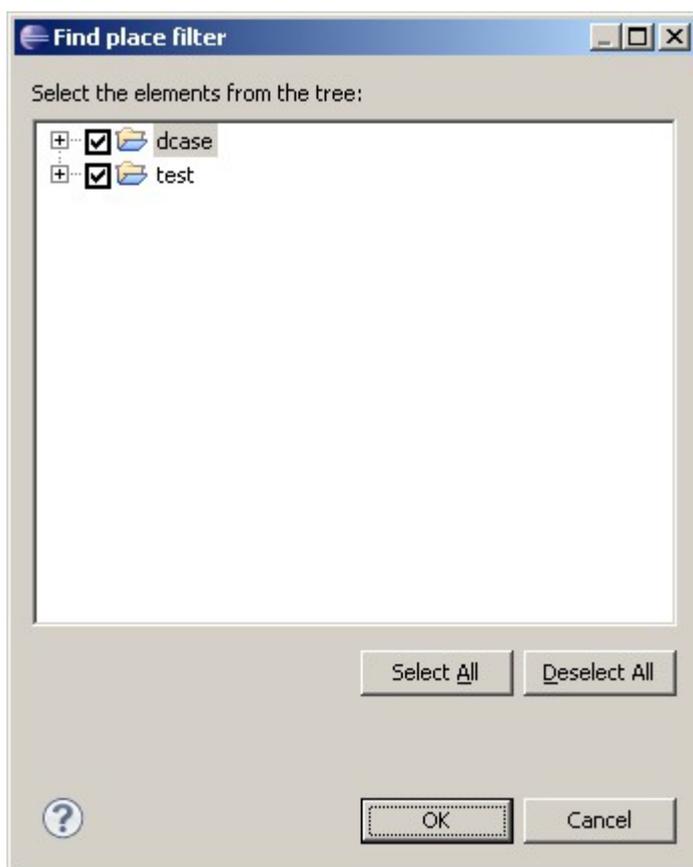


図 85

“OK”ボタンが押されると、検索状況の表示と、“Linkage nodes of the Documents.”Viewを表示し、選択されたフォルダ内に保存されているD-Case文書のノードから、指定されたりポジトリ文書との関連付けを検索します。

キャンバスから開始した場合は、D-Case文書内にある全ての関連文書情報が対象となります。ノードから開始した場合は、そのノードに記述されている関連文書情報が対象となります。

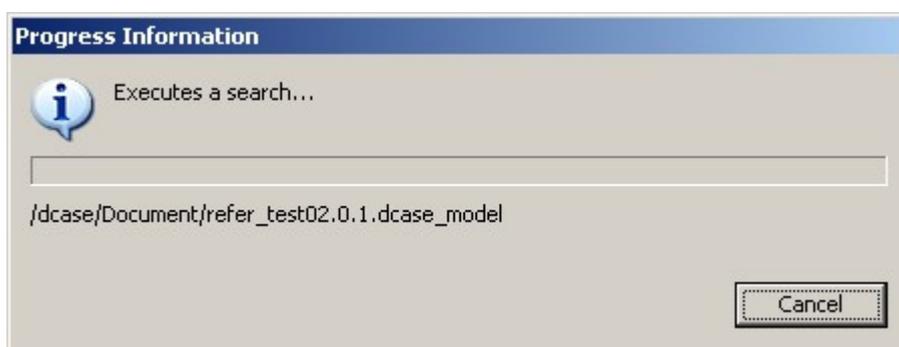


図 86

検索による抽出結果は、“Linkage nodes of the Documents.”Viewに逐次追加されます。

Resource path	D-Case	Node	File name	Path	Version	Workspace name
/dcase/Document	refer_test02.0.1	E_6	testJpg_002.jpg	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.1	E_6	testTxt_003.txt	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.2	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.2	E_6	testJpg_002.jpg	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.2	E_6	testTxt_003.txt	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.2	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.3	E_6	testJpg_002.jpg	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.3	E_6	testTxt_003.txt	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.2	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.4	E_6	testJpg_002.jpg	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.1	NodeDoc_Refer
/dcase/Document	refer_test02.0.4	E_6	testTxt_003.txt	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.2	NodeDoc_Refer
/test	refer_test02.0.2	E_6	testJpg_002.jpg	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.1	NodeDoc_Refer
/test	refer_test02.0.2	E_6	testTxt_003.txt	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.2	NodeDoc_Refer
/test	refer_test02.0.5	E_6	testJpg_002.jpg	/サイト/TestNormalSite1/documentLibrary/関連文書(...	0.1	NodeDoc_Refer

図 87

操作項目の説明

View の操作方法は、リポジリ文書の探索での【[操作項目の説明](#)】を参照してください。

16. Alfresco Community でのバージョン履歴の閲覧手順

Alfresco Community で提供される“Share”という、コラボレーション Web アプリケーションでの確認方法を説明します。

1. ダッシュボード

“Share”にログインすると、ダッシュボードというページが表示されます。

ログインユーザーと同じアカウントで編集した文書で、最終更新日から近いものは“あなたのドキュメント”のグループに表示されるので、その文書名のリンクをクリックします。(【[文書の詳細](#)】へ移動)

更新時期から日にちが経過したものや、他のアカウントで編集された文書の操作は、“あなたのサイト”のグループに表示されているサイトの一覧から、対象文書が格納されているサイトを選びます。



図 88

2. サイト

いずれかのサイトを選ぶと、特定のサイトに絞り込まれた“XXX サイト”というページに移ります。

サイト名称の表示の下に、“サイトダッシュボード”、“ドキュメントライブラリ”、“メンバー”というメニューが表示されている中から“ドキュメントライブラリ”を選びます。



図 89

文書が格納されているフォルダが表示されますので、対象文書が格納されているフォルダまで移動し、その文書へのリンクをクリックします。

3. 文書の詳細

文書へのリンクをクリックすると、“文書の詳細”ページへ移動します。

ここでは文書に付与されたさまざまな属性情報が確認できます。

D-Case 文書の承認で利用しているバージョン履歴は、ページの右側に配置されている、各種プロパティの“バージョン履歴”プルダウンを選ぶと、詳細情報が表示されます。



図 90